臺灣日日新報

本日十二頁

編輯兼發行人 前野鋼若

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙 一部五錢・一ヶ月[illegible]
定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
振替口座臺灣一〇番
電話 代表番號二八〇〇・二八〇四 [illegible]

確實・低廉・親切

第一生命保險相互會社

加入案內あり贈呈

東京京橋 第一相互館

普通文官講義

判任官より高等官や辯護士に成る迄指導!!

今直ぐ本會に入會せば來春四月施行の臺灣總督府普通試驗悠々應試合格可能。年々同試驗合格者の過半數は

本會會員會友。急遽入會あれ!!

今夏東京[illegible]神田[illegible]に竣成する本會新事務所の[illegible]

小學卒業生諸君!! 中等學校卒業生諸君!! 女子獨學者諸孃 悉く本會に來れ!!

今春學窓を巣立つた青少年男女諸君はまづ悉く本會の門に來れ。小學卒業生諸君ならば、本講義で一年の自宅獨學で判任文官各種試驗に合格する確實な學力がつき（年々試驗の[illegible]多數合格者續出。[illegible]）又中等學校卒業生諸君ならば、僅か三ケ月乃至六ケ月の勉學で事足り高等文官試驗突破への年限が短縮され、又高女卒業生諸子や一般女子獨學者諸孃ならば、本講義半年か一年の獨學で判任文官各種試驗の受驗實力がつくばかりでなく、來年度よりは新辯護士法により婦人も辯護士になれるので、本講義こそは將に該試驗突破への絕好の入門書たり得る。本會は創立以來廿三年、既に一萬餘名の成功者を出した。來れ

前年度の試驗合格成績

本會は年々各種試驗に[illegible]會員合格者を出しつゝあるが、前年度に於ても[illegible]二百餘名の合格者を出し、[illegible]六十八名の合格者を、更に高等[illegible]五名の合格者を出した（[illegible]）

獨學立志奮闘成功實例滿載の

菊判 百廿頁 有益冊子 無代進呈

[illegible]

東京市日本橋區濱町二丁目新大橋際

日本大學 通信 法制學會

振替東京[illegible]

スピルカ

正に白熱・申込殺到!

實習本位の大衆講座

豫約募集

全六卷

書道大講座

書壇の權威擧つて參加

- 顧問 東方書道會參事 仁賀保香城先生
- 同 東方書道會參事 河井荃廬先生
- 同 文學博士 中村不折先生
- 同 比田井天來先生
- 講師 東方書道會審查員 長谷川流石先生
- 同 東方書道會審查員 吉田苞竹先生
- 同 泰東書道院審查員 田代秋鶴先生
- 同 東方書道會審查員 辻本史邑先生
- 同 東方書道會審查員 黑木拜石先生
- 同 東方書道會審查員 柳田泰雲先生
- 同 東方書道會審查員 松本芳翠先生
- 同 東方書道會審查員 佐分移山先生

〆切迫る! 申込みは早く!

初めて書を學ぶ人にも、短期間でメキ〳〵と上達する無二の指導書。自宅で一流の先生に教はると同じく親切にして平易、內容完璧にして會費の至廉は本講座の誇りである。

▽どうしたら早く上達するか▽書の上達の秘訣は如何か? 本講座はハッキリとこの重要な題目に解答し、書の要諦を說いた昭和書壇の壓卷である

申込殺到の盛況!

四大特典提供

特典の一 [illegible]

特典の二 [illegible]

特典の三 [illegible]

特典の四 [illegible]

詳細なる 內容見本 申込次第無代進呈

申込の栞
- 體裁 [illegible]
- 會費 每月金一圓二十錢
- 送料 市內十二錢・內地二十一錢
- 締切 五月末日限り

東京市神田區錦町一丁目
振替東京四五三四〇番

誠文堂

婦人書道講座

第二回・豫約募集

素晴らしい好評!

一日も早くお申込みを!

お習字を始めませう

書壇一流の先生が指導され僅かの六ケ月でメキ〳〵と上達する唯一の婦人書道講座がこれ! 四大特典付きの此機會を逸さず一日も早く申込み下さい。

顧問 [illegible]

監修 文學博士 [illegible]

講師 [illegible]

—申込規約—

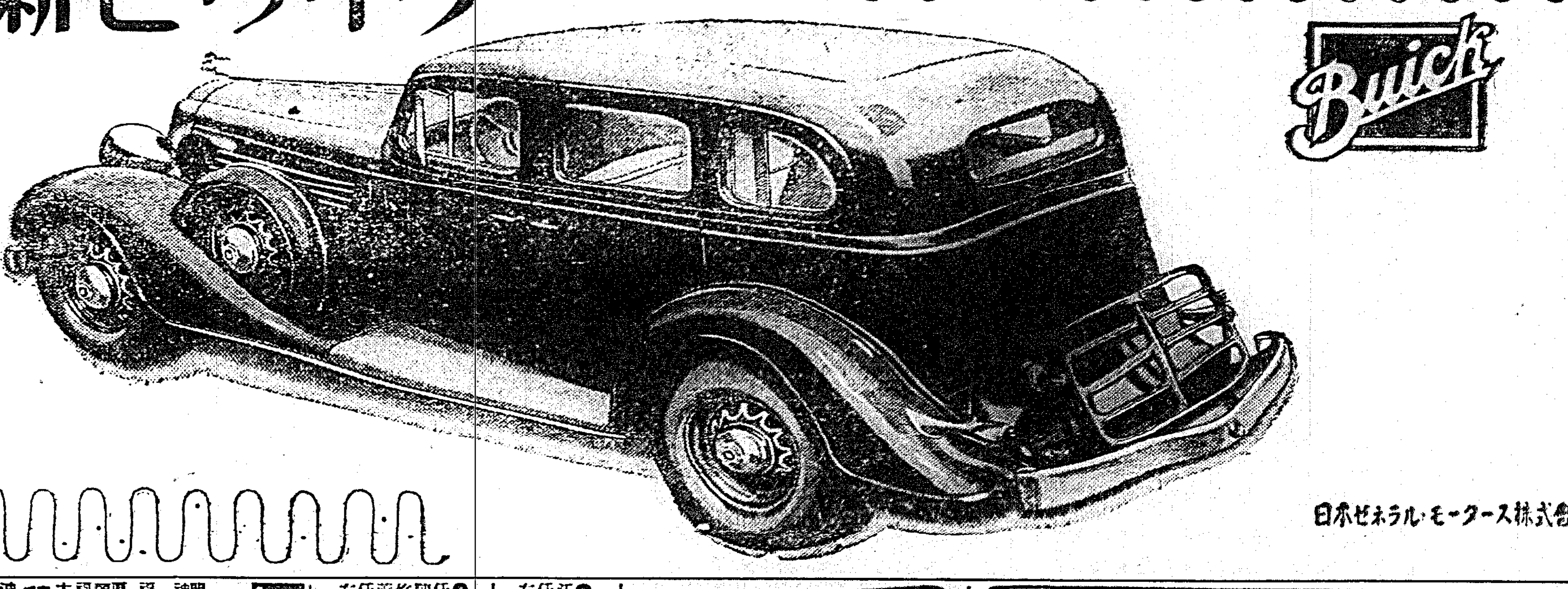
[illegible]

申込みは一時拂がお得です。

內容見本 [illegible]

實質的に優秀な新ビウイク

美に於ても、機構に於ても、而して作動に於ても新ビウイクは眞に實質的に優越せる自動車であります。ビウイクの乘心地は快適なるは勿論如何なる場合にも安全であります。御自家用として、官公署會社の御用車として遍く御信頼を蒙れるも、實にビウイクが本質的に優れた特徴を具有せる爲と確信致します。



Buick

巴自動車商會

台北市大和町二丁目

日本ゼネラル・モータース株式會社

エッロヱパ

高級インキ

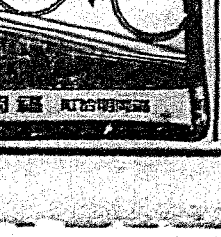
特長
1 世界一沈澱が少ないこと
2 世界一鐵ペンが錆びないこと
3 世界一銳敏が[illegible]いこと

日本特許 八八八四七號
英國特許 三八七八四四號
佛國特許 七三三五七〇號

2オンス入 20 SEN

トップコースター

商工省推定 優良國產品



福岡精工所

商業登記公告

[illegible]株式會社變更 取締役[illegible]

右昭和拾年五月貳拾[illegible]日登記

臺北地方法院[illegible]出張所

商業登記公告

竹南庄[illegible]

右昭和拾年五月貳拾四日登記

臺北地方法院竹南出張所

大阪商船 臺灣出帆

◎基隆出帆

- 門司神戶行 高千穗丸 [illegible] 蓬萊丸 [illegible]
- 福州上海行 盛京丸 [illegible] 長沙丸 [illegible]
- [illegible]香港・汕頭行 山東丸 [illegible]
- [illegible]福州・門司行 [illegible]
- 大連天津行 大球丸 [illegible] 中華丸 [illegible]
- [illegible]行 江[illegible]丸 [illegible]
- 沖繩行 湖北丸 [illegible] 湖南丸 [illegible]
- [illegible]行 [illegible]丸 [illegible]
- 比律賓行 めきしこ丸 [illegible]
- 南洋行 はなま丸 [illegible]

◎高雄出帆

- 馬公行 豆岐丸 [illegible]
- [illegible]香港・廣東行 福建丸 [illegible]
- 東京直行 [illegible]丸 [illegible] 金山丸 [illegible]

其他船便多數アリ 臺北電[illegible]二八五〇

近海郵船 基隆出帆

門司神戶行
- 大和丸 五月廿七日午前十時發
- 朝日丸 六月一日午前十時發
- 吉野丸 六月五日午前十時發

大連仁川行
- 岩手丸 六月十七日午前十時發

辰馬汽船出帆

內地行
- 染殿丸 五月二十八日基隆發
- 桐葉丸 六月六日基隆發

大連汽船 基隆出帆

大連直行
- 山東丸 六月五日午前十時發
- 山西丸 六月十五日午前十時發

代理店 丸一組 [illegible]

會葬御禮

原川繁治

一寸まて! 神經衰弱なら はれやか

ひふ病の良藥

尾澤 全治水

- たむし
- 水むし
- いんきん
- しらくも
- はたけ
- 毒虫の害
- 其他ヒフ病一切

本舖 合名會社 尾澤商店

父喜多次儀豫テ病氣療養中ノ處二十五日不拝午後十一時四十五分死去致候間生前ノ厚誼ヲ謝シ諸彥ニ謹告仕候

追テ葬儀ハ五月二十七日午後四時ヨリ[illegible]ニテ執行[illegible]

昭和十年五月二十六日

- 男 西弘
- 男 西輝男
- 男 西德司
- 男 西美夫
- 男 西益良
- 親戚友人一同

日本海大海戰より三十年
皇國興廢の岐路に今尙直面

一

皇國の興廢を此の一戰に決したる日本海海戰の第三十周年記念日を茲に迎へ、血湧き肉躍る當時を回顧して日本國民は等しく新たなる感慨を深うすると共に特に多端なる今日の時局に直面して此の記念日の意義に深きを覺ゆるのである。古今の名將東鄕大將を司令長官とする我が聯合艦隊がロジエストエンスキー中將麾下の露國太平洋第二、第三艦隊を朝鮮海峽に迎へて之を擊滅した事は世界大戰史上空前の大勝利であり、之に依つて帝國は東洋の制海權を完全に掌握し、滿洲の野に於ける陸軍の勝利をして能く其の成果を收めしめた。それは列强の脅威的な存在たる大强國ロシアを降伏の餘儀なきに至らしむる最も大きな因をなし斯くて帝國は其の武威を世界に發揚、斷然として世界列國の中に伍し國運隆々旭日昇天の勢を示すに至つたのである。

二

帝政ロシアの横暴極まりなき東方政策に對し、日本は遂に敢然起つて破邪の劍を揮ふの餘儀なきに至つた、而して大强國たるロシアに比し日本は當時往々にして世界地圖に支那と其の著色を同じくせられた一小島國に過ぎず、列國は日本危しとまで酷評するものがあつた。即ち一つの大きな國難に遭遇したのである。明治三十七年秋露國太平洋艦隊は旅順に潜伏僅かに餘喘を保つに過ぎざるも、露國がバルチック艦隊を太平洋第二艦隊として東洋へ增援派遣の報は、旅順の堅陣は落ちざる當時にあつて、我が制海權上、征露攻略上重大なる問題を提出したのである。[illegible]艦隊の威力を以てしてなほ少からざる損害を蒙つたのであるが、バルチック艦隊が一度び大洋面に入らば、其の結果は實に恐るべく、茲に我が聯合艦隊は、之を完全に擊滅するの重大責任を課せられたのである。即ち「滿洲に於ける陸軍の勝利は敢て小なるにあらずと雖も海軍がよく制海權を確保するにあらざれば到底完全な戰果を收め得ず、〇艦隊を擊滅するにあらざれば、滿洲に於ける陸軍の勝利は實效少き殘影と化すであらう」といふ英誌の批評はよく當時の情勢を現はしむるに足る。

三

此の秋に當り東鄕司令長官は明治大帝の御下問に對し「誓つて之を擊滅して宸襟を安んじ奉らん」と奉答したのであるが、果して其の言に違はずバルチック艦隊を擊滅し勅辭し去つたのである。東洋の海權を回復し、以て戰局の決死的打開に當らんが爲めに露國上下の重望を荷つて千里の波濤を超えて東航したるバルチック艦隊は、明治卅八年五月廿七、八の海戰に於て脆くも潰滅した。司令長官ロ中將は我軍の俘虜となり、第三艦隊司令官ネボガトフ少將は降伏し總數三十八隻の敵軍艦中、擊沈又は捕獲されたもの二十一隻、抑留の爲めに武裝解除されたもの六隻、目的地たる浦鹽に辛うじて逃げ込めたもの僅かに小巡洋艦一隻、驅逐艦二隻に過ぎない。

四

之を若し當時の彼我を代へて[illegible]海軍、財政、外交あらゆる點に於て如何なる結果を齎すかを思ふとき皇國の興廢此の一戰にありと[illegible]は決して何等の誇張もないのである。此の危急存亡の秋に當り、不曾有の赫々たる大勝を博し得た所以のものは陛下の御稜威によるものである事は申すまでもないが更に又全國民の緊張と文字通りの擧國一致の賜物であらねばならぬ。而して彼我の物的勢力相匹敵した日本海海戰に於ける勝因は結局人に歸する。正義の爲めに、國家の爲めに絶對に身命を賭して勝たねばならぬといふ信念の下に於て我軍の技術と精神とは正に彼を壓倒し得たのである。

五

日本海海戰に於て正に能く邪を制し力强き日本精神の發露を見る。しかしながら邪なる闘道よく勝を制する事あり、精神力のみを以て遂に及ばざる事に想到するとき、實に國防の强化が國家存立上の絶對的條件なる事を痛切に認識されなければならぬ。太平洋の平和が確保されるのは我が國防力の實にありと云はれるは實に至言である。國家其の存在を確保し其の正しき主張を貫徹し、外侮を防がんには强力な軍備を缺く事を得ない、殊に、今日の國際情勢は非常な緊張を見しつつあり、列强軍備の充實に汲々たる有樣である。所謂國際平和機構乃至條約の時に何等の力なきを痛感させられる。海軍軍縮會議の前途は暗澹たるものあり、國防の充實は今や瞬時も忽せにするを許さない、殊に今日は所謂非常時代であり、三十年前とは非常な相違があり、物的軍備の整備は更に重要性を增してる。軍備は絶對に守るに充分でなければならず、それが爲めには多額の國帑を費すも亦已むを得ない。吾人は茲に先人の赫々たる護國の大功を偲ぶと共に、國防の强化に就いて更に一段と深き關心を持たねばならぬ。何となれば國際間の重大な海軍諸問題は、皇國興廢の岐路に立ちつつあるが故である。

政友會、內審に對抗
國策調査會を新設
黨內各機關を動員
政戰闘志を堅む

【東京二十六日發】政友會は毅然たる野黨として獨往邁進すべく黨の統制に全力をあぐると共に先づ手始めとして國際政局問題を提げ、各派に共同聲明の提唱を爲したが若し同意を得ざる場合は單獨聲明を發して政府の態度不徹底を糾彈し、國策の實行を迫つて國際問題の徹底を期せんとしてゐる、國策樹立に付いては內閣審議會の向ふを張つて今後政務調査會の活動を促すは勿論、山本条太郎、久原房之助兩長老を中心に黨內の大物を總動員する國策調査會を新設し軍部、財界方面とも意見交換の上國民の要望を代表する大政策として確固たる國策を樹立せんとしてゐる

不徹底

急速に

[illegible]

山本（条）氏が政界の第一線引退說傳る
首相、勅選奏請を決意？

【東京二十六日發】政友會長老山本条太郎氏は最近健康も思はしくなく加ふるに政友會の黨內事情から氏の政治的主張も容れられず殊に內閣審議會問題に付いては親交の間柄にある岡田首相と政友會の板挾みとなつたことから近く政友會の第一線を退き[illegible]たき意向を漏らして居りその實現も近いと見られてゐるがこれに對し岡田首相はこれを絶好の機會に[illegible]山本氏が我が經濟に盡した功績と滿鐵時代の滿蒙事業に對する貢獻に報いるべく氏を貴族院勅選議員に奏請することに決し氏に[illegible]、町田、床次の三長老閣僚も賛意を表してゐるので近く來る七月頃までにはその實現を見ることにならう、猶今回の山本氏の勅選に付いては首相は飽くまで政治的意味を離れ[illegible]としてその勳功に酬いたものであつて山本氏の將來の政治的立場に付いては勿論何の關係ないものと[illegible]してゐる

[illegible]

同仁會長更迭

【東京二十六日發】大倉喜七郎氏は同仁會長の職にあつた內田康哉伯は今回病氣の爲め辭任したのでその後任として林權助男が就任した

俗事から足を洗ひ
治療に專念し度い
勅選の交渉など受けてゐない
山本氏、心境を語る

【東京二十六日發】政友會長老山本条太郎氏は最近健康[illegible]本氏を訪問すると最近の心境を左の如く語つた

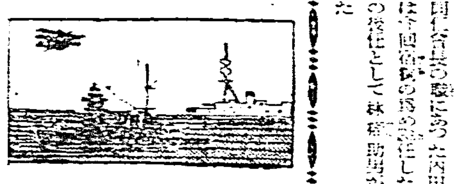
病氣が思はしくなく、最近は每日ラヂユウム療法をやつてゐるが、ラヂユウム療法にはスエーデンが世界一だと聞いてゐるので暫らく病勢を見た上で、どうしても日本では駄目であると云ふ事になればスエーデンに行つて根本的に治療して來たいと思つて居る、現在の我輩の心境は一切俗事から足を洗つて勿論政治活動からも離れて專心病氣を治す事に努めて居る、勅選の交渉は全く受けて居ない

日本では
斷乎として拒絕
支那側の要求を

【上海二十六日發同盟】[illegible]

園公訪問の
有吉大使
歸京前語る

【興津二十六日發】[illegible]


5　海軍今昔物語

日　[illegible]

な　[illegible]

そ　[illegible]

新　[illegible]

こ　[illegible]

潜水艦の親は
小栗、井出兩大將
日露役直後
小林大將語る

大　[illegible]

ハルハ事件解決せば
外交代表を交換
滿蒙國交上に
滿洲里會議注目さる

【新京二十六日發】[illegible]

蒙古側代表
姿を見せず
誠意疑問視さる

【新京二十六日發】[illegible]

實質上から見て
國府、砂糖を專賣
外糖側は猛烈な反對

【上海二十六日發本社特電】[illegible]

聯盟理事會秘密會
支那の理事席要求に對して

【ゼネバ二十五日發】[illegible]の理事國として支那の理事席要求に對しては左の如きものである

一、支那の理事席要求は極東乃至アジア一般問題に付き現地よりの代表者を全く有しないことになり地理的にも聯盟の世界性をきずつけてゐる

一、支那は非常任理事國を以て滿足する

一、若し他の理事國との振合上再選が容易でない場合には理事會構成員數を增加することも妨げなしと信ずる

[illegible]

理事會閉幕

【ゼネバ二十五日發】[illegible]

カロラン築港に
陳情委員が出北
赤城街長らが代表で

【羅東二十六日發】[illegible]

九月の理事會
まで延期

【ゼネバ二十五日發同盟】[illegible]

擾亂匪賊は
斷乎膺懲
我軍の決意

【北平二十六日發同盟】[illegible]

上海金融界悲觀
の要なし

【上海二十六日發同盟】[illegible]

黃郛氏
引退を希望

【上海二十六日發】[illegible]

鐵道問題は
飽迄運動續行
報告會で決定

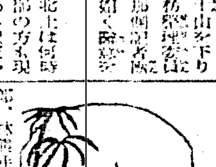
【臺中電話】[illegible]

石油の代用に
酒精混用を强制
來議會に之が法律制定か

【東京二十六日發本社特電】[illegible]

花蓮港では吉
元大尉講演

【花蓮港電話】[illegible]



[illegible]

◇シナチク◇

[illegible]

人事

[illegible]

▲山田長三郎氏（砲兵大佐）二十五日來臺、二十六日臺中へ

▲山本健二氏（航空兵少佐）廿五日來臺、廿六日臺中へ

▲原田讓氏（陸軍技師）廿五日來臺、二十六日臺中へ

▲今村明恒氏（理學博士）二十七日內地へ

▲佐野利器氏（工學博士）二十七日內地へ

▲永岡涼風氏　二十七日內地へ

▲小林耕毅氏（憲兵大尉澎湖憲兵分隊長）澎湖に出張中の所廿六日歸任（馬公二十六日發電）

▲大磯誠三氏（澎湖廳長）二十八日珊瑚漁業打合の爲め出府の筈（馬公二十六日發電）

▲劉明朝氏（督府殖產局水產課長）二十六日午前澎湖廳で行はれた優良士講習修了式臨席及び珊瑚發見につき視察その他の用務で二十六日來澎（馬公廿六日發電）

▲田村浩少佐（臺灣軍參謀）は檢閲の爲め二十六日來澎（馬公二十六日發電）

▲阿部能男氏（花蓮港廳庶務課長）教育課長會議出席の爲め二十六日出府（花蓮港電話）

謝出火御見舞
高雄築港出張所

◉祝三十周年海軍記念日◉
酒祭り
本島最初の巨催
五月廿七・八・九・三日間（每夕六時より）
會員券一圓（料理福引付）
冷酒瑞光呑放題
主催　カフエーモンパリ
後援　專賣局臺北支局

莊典雅
殿堂の
料亭
江の島
高雄港口
▼社交係數十名募集

婦女界
ゆかたの涼紗荷揃
選美展の……
殘品に種々新品を加へました
一、正絹紗、明石　其他　五・五〇
一、織絽名古屋帶　七・五〇
一、絽名古屋帶　九・五〇
一、絽壁織丸帶　九・〇〇
お土産として　四・五〇
女袖地（三枚）四・五〇
十錢
◎著附人形投票當籤者發表
[illegible]
◎本日は休ませて頂きます
松井呉服店

親鸞聖人（219）

（續上製）**吉川英治作**　**山村耕花畫**

女人篇

手長猿（一）

むささびでも逃げるやうに、木の葉を騒めかせて滝を辷つて來た者がある。灌木の枝と枝とを掻き分けて、ひよいと首を出したのを見ると、それは四郎の手下の蜘蛛太であつた。

もうほの暗い谷間をのぞいて、

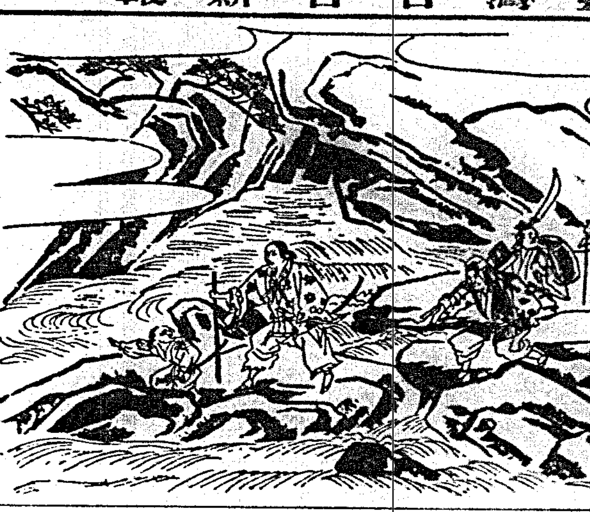
「だめだ！ここも」

と、舌打ちした。

断崖の上にはまだ大勢の人影が残つてゐた。降りやんだ霧の空は眠になつて雨く明るく返つてゐる。そのかはりに刃ものを渡るやうな風が出て、断崖の腰にうごいてゐる黒々とした一味の影を吹きなぐつてゐた。

「蜘蛛っ」

とその群が上から呼ぶと、



「おウい……」

彼は首を仰向けて呶鳴つた。

「降りて來たつて駄目だ。ここの瀬も、越えられさうな所はねえぞい」

蜘蛛の足もとへ、ざらざらと土が零つて崩れて來た。彼が止めてゐるにもかかはらず、上の者どもは樹蔓にすがつたり、根笹を割りにして道もない懸崖を手長猿のやうに繋がつて降りて來る。そして一際、激流のあたりを俯瞰ろしてから。

「かう、雪解けで水嵩が増してゐちやあ、どこ迄行つても、易々越えられる瀬はあるものか。この邊は、川幅のせまい方だ。何とかして渡つてしまへ」

「さうだとも、まさか、俺たちが溺れもしまい」

蜘蛛が、先を歩いてゐて、

「あぶないつ！」

と、又止めた。

「何だ」

「この下は、洞窟だ」

「ひさしを這つてあるけ」

「松明を灯さうか」

「火はよせ」

天城の四郎だといふことが聲がらではつきりと分る。

暗いので各々の足許は分り兼ねる。手に持つてゐる槍だの長刀の刃が時々青い光を闇で放つのだつた。

「松明など点して歩いてみろ、すぐ山の者が眼を醒つて、怪しむに違ひねえ、どんな武家の館でも、寝裡のうちでも、怖いと思つて忍びこむ所はねえが、この叡山だけは気をつけないと少し怖い。なぜなれば、ここの山法師ときては、俺たち野伏り以上に殺生で刃ものいじりが好きと來てゐる。のみならず、一山諸房には鐘があつて、すはと云へば、九十九谷の燈音が一時に谺を揚げて坂本口を包んでしまふ。また峠には雲があるから四明へ逃げのびるにはやつかいだし、八瀬へ降りる間には追ひ縋まれてしまふ。努々、大きな聲も出してはならねえぞ」

[illegible]たる者に一歩々々兵法に等しい細心な思慮を凝して行かなければならない。さうして忍びやかな自由を持つて四郎の分別に率ゐられた十四、五人の影は、やがて断崖を下り切つて、激流の白い泡が岩を嚙んでゐる淵に立つた。

蓬萊米は 稍落付風情

政府拂下米の成行は既報の如くであるが下關よりは一俵九圓七十錢から十四二十錢迄で落札し蓬萊米は七月積北部產神九圓六十五錢程度との入報あり又大阪の引跡氣配は二千[illegible]を殘して來たが[illegible]正米氣配は二十五日引跡七月五日限九圓四十一錢出來廿六日朝は九圓九錢買入と下支へ稍落付模様に見受けられた、因に一期蓬萊の移出高は去二十三日迄に一萬八千九百[illegible]に達したが二十五日迄には二萬五千俵を越した模様である

臺南州下の 產糖八百卅二萬擔

豫想より五十二萬餘擔增

【臺南電話】臺南州下各製糖工場中既搾業了の製糖新營工場は廿四日終了產糖高五十六萬七千七十三擔八、步留一割三分六厘九毛で[illegible]糖の虎尾第一第二工場も別項の如く同日午後三時終了しこれで臺南州下全工場も壓搾を終了した譯であるが總產糖高八百二十[illegible]萬五千七百十七擔[illegible]七十四萬二千七百八十七擔を合せると計八百三十三萬八千五百四擔に達し豫想高七百八十一萬三千二百三十九擔に比し五十一萬六千二百六十五擔の增差である

大寮埤圳と 新興製糖の惱み

大寮一帶の蔗作の爲に 排水施設を要望さる

鳳山の新興製糖は大寮埤圳が竣成してから區域內に米作熱が高まり蔗作に多大の脅威を受くるに至つたのみならず通水の爲めに

地下水 が高まり蔗作は更に排水不良に惱まさるる狀態となり現に九、十年期の如きは大寮庄一帶の蔗作が排水難の爲めに步留低下不利な結果を招來したと云はれてゐる、此の大寮埤圳組合の區域內には新興の社有地八百五甲あるので同埤圳の工事負擔金として社は年に二萬八千圓を支出し[illegible]排水施設も行はれて行に米作のみならず蔗作にも

好結果 を齎らされんことを希望し且つ期待してゐたので、然るに事實は之に反し同區域に於ける蔗作面積は漸減し十年期に於て七百二十六甲に上つたものが翌期即ち十、十一年期に於ては約五百甲となり次の十二年期は米價高と排水不良の爲め耕作者は蔗作を去つて殆んど米作のみに集中せんとする風潮があり同社としては之が對策として山手方面に新規蔗作を奬勵し埋合せを爲さんとしてゐるが

山手は 甲當收量が平地に劣るのみならず運搬費を多く要するので無暗に山手蔗作に偏することも出來ぬと云つてゐる、尤も鳳山方面の本年第一期蓬萊作はいもちが發生して米作者に多少不安を與へて居り又一時八十五圓までに暴騰した籾價も最近七十圓以下に崩落し何れは六十二、三圓どころに落付く模様であるから會社が奬勵方法に多少加減を爲し蔗作區域の蔗作を有利に導けば恐らく蔗作が

[illegible]減す ることもなからう[illegible]れてゐるが、それにしても蔗作に必要なるは灌漑よりも寧ろ排水であるから埤圳組合に於ては從來[illegible]地方の事例や臺南大圳區域內三年輪作の實績等に鑑み大寮埤圳の利用に[illegible]施設が望ましいものであるとの聲高く目下關係當局でも相當考慮してゐる模様である、因に新興は製糖五十萬擔を目標に蔗作改良施設を圖り將來耕地

白糖を も製造する方針で進んで來たが、右大寮埤圳の通水による蔗作難の爲めに右の計畫は一時中止の已むなきに至つた模様で新式製糖中唯一の本島人系會社として統治上意義ある存在とされる同社の爲めにも甚だ遺憾な事であると評されてゐる

佛國立銀行 更に一分利上

一躍四分となる

【パリ二十五日發電通】フランス國立銀行は二十五日公定割引歩合を又復一分方引上の四分と改訂した旨二十五日發表した

フランの流出 更に二十億法

金本位擁護の決意固い

【パリ二十五日發電通】去る二十三日に公定歩合を二分に引上げたばかりであるが[illegible]引上げに[illegible]の金の流出を防止するに足らざりしものの如く[illegible]引上げとなつたものである[illegible]フランス政府當局[illegible]の金の流出[illegible]その後の金の流出[illegible]二十億フランに達する[illegible]

[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	五〇、〇	四八、〇〇
[illegible]	一二五、〇	[illegible]
[illegible]	三七、五	七三、〇〇
[illegible]	一二、五	一〇、四〇
[illegible]	五〇、〇	五三、〇〇
[illegible]	二〇、〇	七五〇
[illegible]	四二、五	一七、[illegible]
[illegible]	五〇、〇	[illegible]
[illegible]	一七、〇	三一、〇〇
[illegible]	五〇、〇	八五、〇〇
[illegible]	一二五、〇	四〇、〇〇
[illegible]	一二、五	二七、〇〇
[illegible]	一二、五	二七、六〇
[illegible]	五〇、〇	二六、〇〇
[illegible]	三三、〇	四五、〇〇
[illegible]	五〇、〇	六五〇〇
[illegible]	四八、五	一八、〇〇
[illegible]	四〇、〇	二〇、〇〇
[illegible]	二〇、〇	三七、二〇
[illegible]	四〇、〇	二九、〇〇
[illegible]	一二、五	二〇、〇〇
[illegible]	一二、五	一〇、五〇
[illegible]	一五、〇	一三、〇〇
[illegible]	五〇、〇	四四、五〇

山村工業として 松脂採取研究

山村の工業として最近[illegible]地方に於いて特に松脂採取試驗研究が行はれつつある。即ち[illegible]を目的として採取の三ケ月以上[illegible]松脂に[illegible]、七月以降に新式[illegible]すると一六%以上二十%の增收を得る事から、又七月乃至八月採取の生松脂の蒸溜によるテレビン油は二一、八乃至二一、九%なるに比し九月乃至十月に於いて採取すれば二四、八乃至二五、一%の多量を得る事が判明して居り、松脂採取上有望されてゐる

麪の輸入激減す

新規輸入の餘力無きため

財務局で調べたところによれば本年一月以降四月末に至るまでの麪の輸入は數量一千百七十[illegible]斤にして前年同期に比較して數量に於て一千百四[illegible]十六萬二千二百二十六斤、價額に於て[illegible]一千四百六十八斤、價額四十四萬六千六百二十二圓にして前年同期累計の二千三百十六萬三千七百九十四斤、價額七十萬七千百四十五圓に[illegible]してゐる、これは前年末の輸入激增の後を承け、實需品はずに在貨處分のみに全力を注いで新規輸入する餘力が殆かつたために依る

惡材料多く 株式の大勢不良

六月に底入れか

フランの著しい國外流出からフランス國立銀行は之を防止せん爲め割引歩合を二分五厘から三分に引上げたがその效果疑問とされ又も歐洲金本位國の不安が釀成され一方上海に於ける美豐銀行の破綻から在支外國銀行の取付頻頻たるを報じ折柄米日爲替は暴落し此の關係[illegible]もあり下半期の貿易の前途を悲觀さるるに至つたので株式市場は買方の鋭氣を挫き[illegible]し新東株は日銀川[illegible]を始め揃つて[illegible]は百四十圓を割つて百四十一圓と[illegible]し大新も九十圓割れ八十九圓十錢と下落し電力株と砂糖株は下落の入組株も一歩先に弱されただけに此處へ來て案外カッチリしてゐる砂糖株は小甘を保合、島內諸株も殆んど變化がない大體五月より六月にかけては季節的に株式の閑散期であるが過去二、三年間に事業界の新設擴張の爲めに株式の供給高が著增しそれに資金を吸收された爲か金融の[illegible]がないでもなくこれも大勢不良の有力なる一因と云はなければならぬ今の形勢からすると何うやら六月に底を衝くのではないかと思はれる、最近の取引は左の通りである

[illegible]	[illegible]	[illegible]
同 新	三七、五	一五、二〇
[illegible]	一二、五	六、〇〇
彰化銀	五〇、〇	二八、五〇
彰化 新	二五、〇	一四、五〇
[illegible]	三七、五	九、二〇
[illegible]	一二、五	八、八〇
[illegible]	一二、五	三、〇〇
[illegible]	五〇、〇	二〇、〇〇
[illegible]	一五、〇	四〇、〇〇
[illegible]	五〇、〇	四八、二〇
[illegible]	二五、〇	一五、〇〇
[illegible]	五〇、〇	五二、五〇
[illegible]	一二、五	四四、五〇
同 新	二五、〇	一二、〇〇
[illegible]	二五、〇	二一、〇〇
[illegible]	五〇、〇	三三、〇〇
同 新 株	一二、五	八、七〇
[illegible]	二〇、〇	一〇、九〇
[illegible]	二五、〇	四、五〇
[illegible]	二〇、五	八、五〇
[illegible]	二〇、〇	一五、五〇

最近二ケ年間の 勞働者の推移狀況

勞働人員は激增したが 定額賃銀は漸次下落

內務省社會局では日本銀行調査の勞働人員[illegible]指數により最近三ケ年間の[illegible]について調査したが[illegible]ケ年間の[illegible]につき[illegible]勞働人員は[illegible]に增加し、[illegible]

[illegible]

昨年に於ける 農產物の輸出入

七年輸出の八五・五% 同輸入は一四八・一%

昨年の農林生產物の輸出入[illegible]を見るに輸出に於ては[illegible]五八、一七六圓で[illegible]一九、五%を占めて[illegible]の輸入[illegible]（七年を一〇〇と[illegible]す）

	指數	輸出總額に對し
七年	一〇〇%	[illegible]
八年	[illegible]	[illegible]
九年	[illegible]	[illegible]

[illegible]

米日爲替反落

【ニューヨーク二十五日發電通】二十五日のニューヨーク爲替相場は前日の[illegible]の跡を受け一齊に反落し對米日本[illegible]二十九弗十二仙（十二仙安）[illegible]九十一仙二分一（三仙八分五安）と引けた右はフランス國立銀行の再度の利上と休日控へ[illegible]があつた爲めであるが[illegible]は七十五フラン十七と唱へてゐる

[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	五〇、〇	一三、一〇
[illegible]	二五〇、〇	四九、五〇
[illegible]	一二、五	二二、一〇
東海自動車	五〇、〇	三〇、五〇
[illegible]	一二、五	七七、〇〇
[illegible]	五〇、〇	三九、〇〇
[illegible]	五〇、〇	一四、八〇
[illegible]	五〇、〇	四〇、三〇
[illegible]	五〇、〇	四一、八〇
[illegible]	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、三〇

日、英、米、佛の 物價指數比較

東京巴里低落 倫敦、育騰貴

日本銀行調査局の四月中に於ける內外物價指數調査表によれば東京は一四九・〇%、[illegible]數は一〇〇・七%[illegible]

遠洋鮪鰹漁業

組合設立要望

遠洋に出漁する鮪鰹漁業者の[illegible]防止及[illegible]の[illegible]を圖る爲めに[illegible]の設立あり度き旨[illegible]要望されてゐるその方針としては組合地域を一定[illegible]度とし[illegible]

米獨兩國で 物々交換開始

米國內に於ける獨逸品に對する猶太人のボイコットに[illegible]られつつあり加ふるに[illegible]により米國と獨逸との貿易は[illegible]せんとするに至つた[illegible]

[illegible]

嘉なかだち

小店員

寫眞技師

雇人

電[illegible]

二十七日內地午後八時東京ＡＫ全國中繼放送す

日本ビクター合唱團

合唱　海國大日本と躍る黑潮

市丸　流行唄　海軍ぶし

小野巡　流行歌　憧れ太平洋

勝太郎　流行歌　名譽の信號旗

右は日本ビクター蓄音器株式會社に於て[illegible]レコードとして[illegible]

ビクターレコード

明鷄の研究

六月號特輯　飼料高の切拔け策（一冊[illegible]）

東京丸ビル六階　鷄の研究社（振替東京七三三六一番）

巡査

[illegible]

日本警務學會

パンドマンの[illegible]！

日の出

（J）

こばた

仁丹香錠（十錠[illegible]）

煙草の

[illegible]口中の[illegible]を去つて煙草の味をベストにする――喫煙家の好伴侶です

[illegible]

臺灣總督府警務局方劑

內務省指定消毒藥

「後藤」デシン

[illegible]

第一　殺菌力の強大なる事

第二　惡臭を除き芳香性を發揮する事

第三　人畜に無害なる事

「後藤」デシンは[illegible]

御注意

「後藤」デシンと御指命を乞ふ

石油罐入は（四十ポンド入）特價提供致します

消毒　防臭　殺虫

製造元　合資會社　後藤デシン本舖

神戸市葺合區八幡通四

午後九時

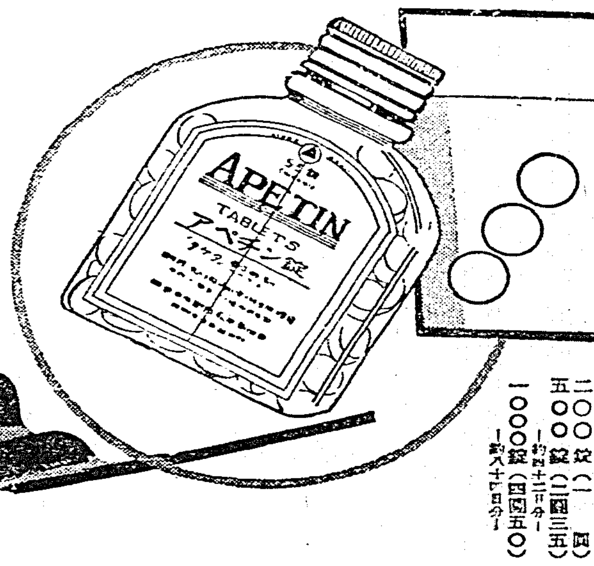
大セロ

登錄商標

いんきん・たむし　セーキン

すり込んでおけば獨りでに快くなる

[illegible]



胃腸の活力を鼓舞する

近代藥理に基く　胃腸藥

【主治効能】

消化不良

食慾不振

常習便秘

便通不整

脚氣・貧血

榮養障害

乳兒脚氣

乳兒緑便

發育不良

小兒消化不良

腸內異常醱酵

病後榮養增進

アペチン錠

胃弱、慢性病衰弱の方に

肺結核で食慾のない方に

【藥價低廉】

五五錠（四〇錢）

二〇〇錠（一圓）

五〇〇錠（二圓三五）

一〇〇〇錠（四圓五〇）

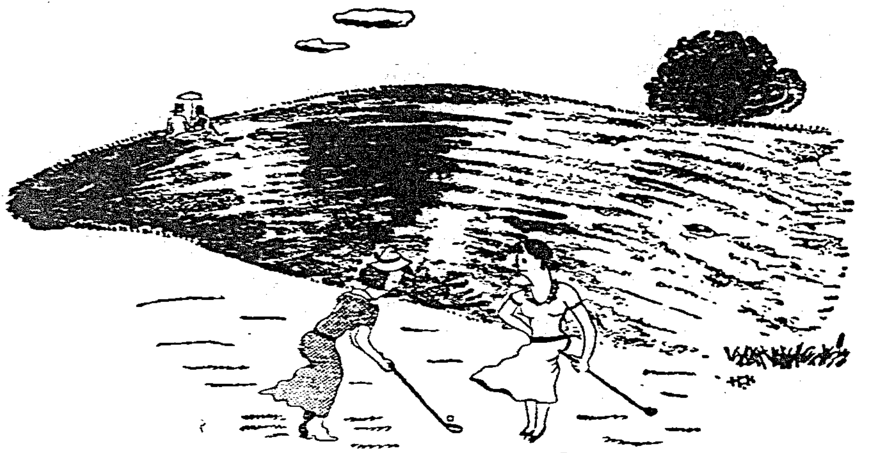
製造發賣元　[illegible]　株式會社　武田長兵衛商店

關東代理店　東京市本町　小西新兵衛商店

25—406(O)

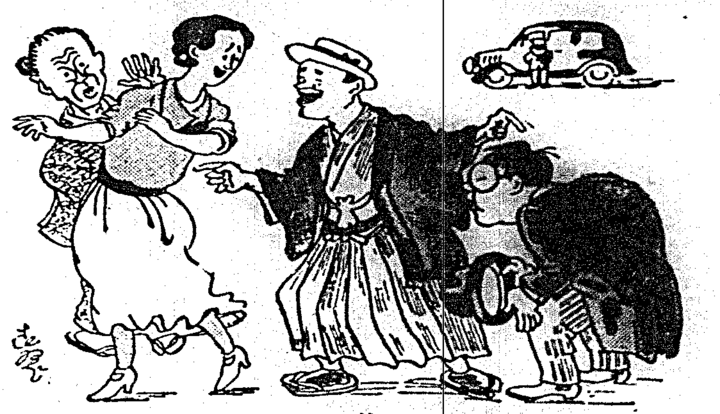
まんがページ

野村幸一（編）



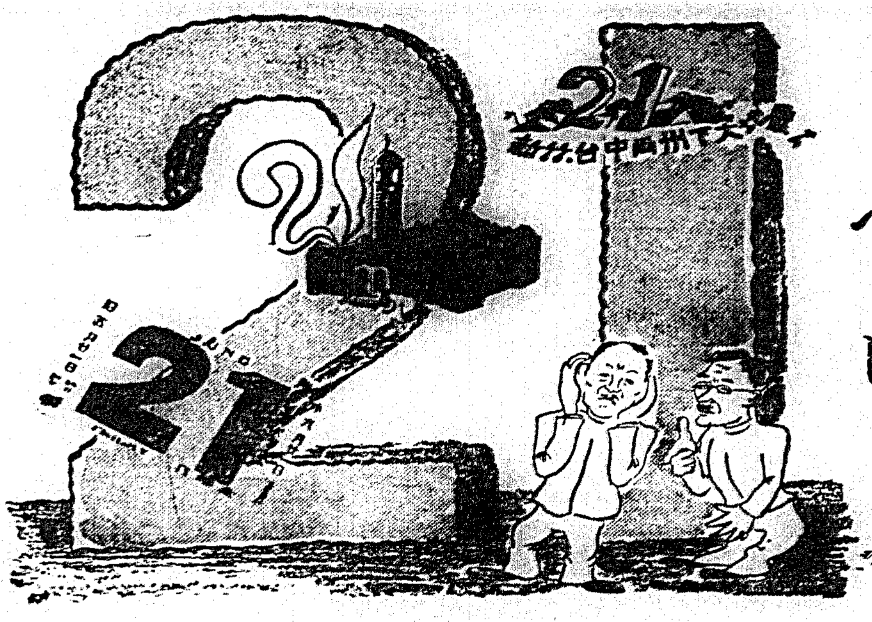
惱みのゴルフ

「まあ困つたわはすつかりあてられつちまうわ」
「ドライブかけて[illegible]してやりませうよ」



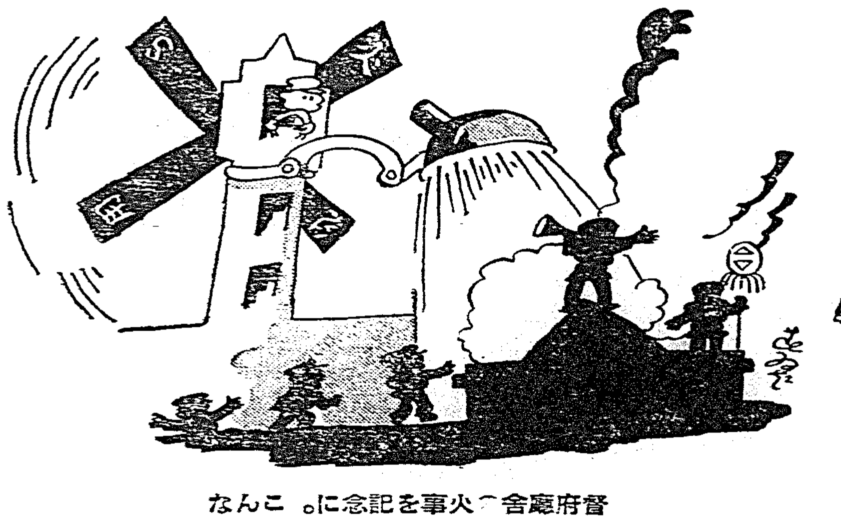
成程仲人の言葉に
僞りは無けれど

母親「お前さんこのお方かい流線型の博士のお嫁さんといふのは」
仲人「左様ご說の通りで」

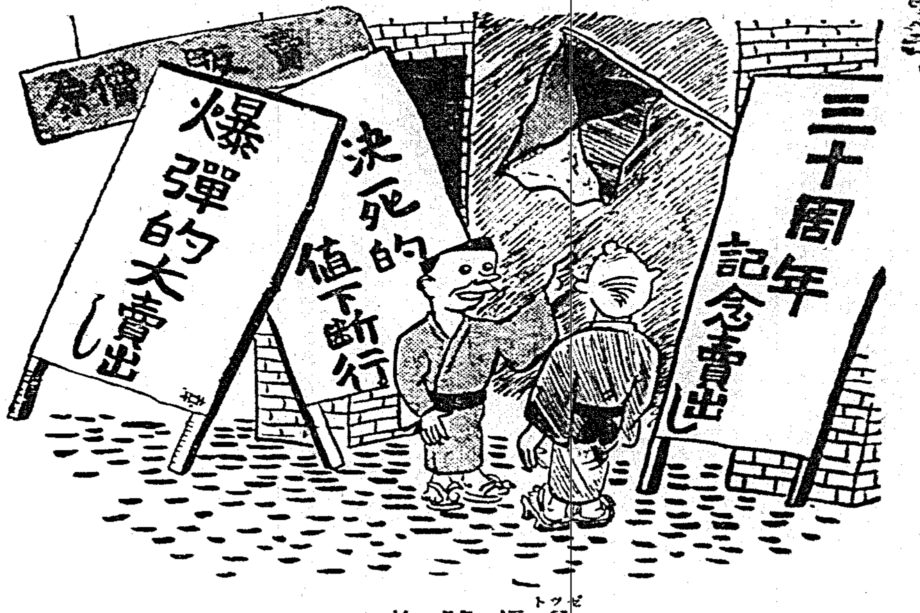


其処に來るもの

二度あることは三度あるとか　さても凶門の廿一日よ

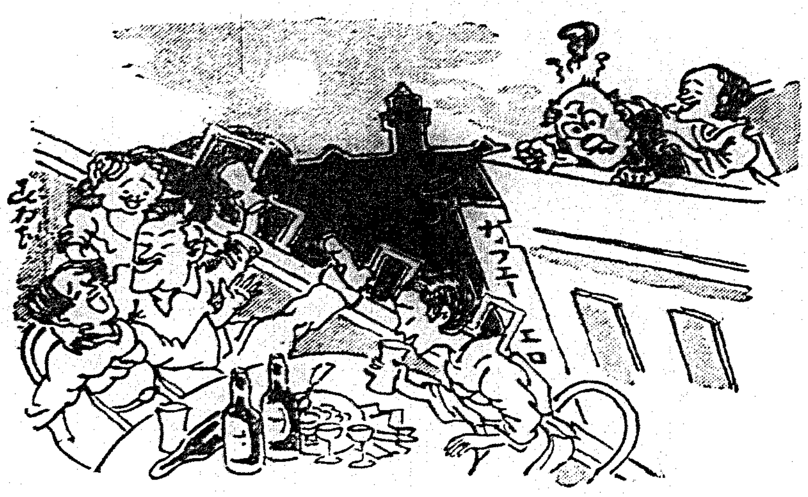


督府廳舎の火事を記念に。こんな
設備をしたら素晴らしからうナ


廉價販賣
爆彈的大賣出し
決死的値下斷行
三十周年記念賣出

Z信號旗

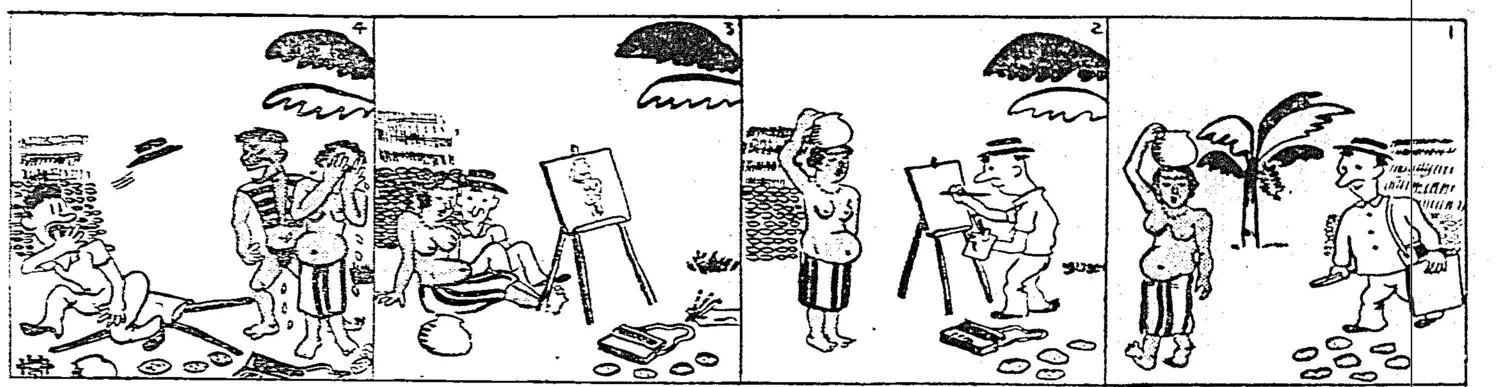
「その實は何の様ですかな」
「販賣の興廢この一戰にありでなア」



カフエー屋上涼臺

メリ給「オヂさんは俄に似合はず元氣なんですね。他の店なんか覗くなんて…怪しからんのはオヂさんの方よ」
高親父「アツリヤリ、ありや怪ちやよ。どうも怪しからん奴ちやよ」

蕃地に咲く花（首つたけ物語）



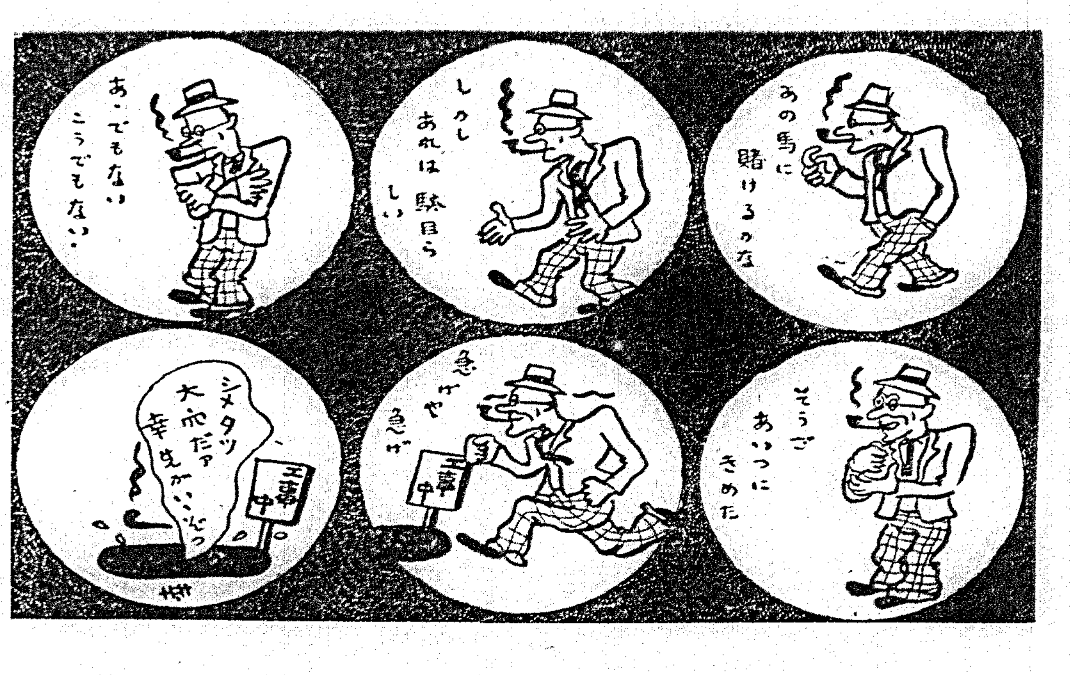
1　洋畫家[illegible]は畫材を蕃地に求めてやつて來ます「オホツ！これは素晴らしき蕃娘ぢやぞ」

2　蕃娘と仲よくなつて早速モデルになつて貰ふことになりました「ナント、この色つや、この肉體ぢや、此度こそは入選は疑ひなしだぞ」と一生懸命です

3　やがて二人は意氣投合して[illegible]あふ仲となりました「すべからく[illegible]」[illegible]首つたけ何んとか[illegible]してしまつた」

4　トタン、親父が來て「この野郎うちの娘をなんとする[illegible]」[illegible]

競馬ファン


あの馬に賭けるかな
しかしあれは駄目らしい
あゝでもないこうでもない
そうだあいつにきめた
急げや急げ
工事中
シメタツ大穴だァ幸先がいゝぞう
工事中

經驗の積まれたものは貴い

何事によらず經驗の積まれたものは貴ばれます。藥は一歩を誤れば生命にも關しますので、一層經驗の積まれたものを尊重せねばなりませぬ。華々しく宣傳せられる「藥」の數は擧げて數ふるに追の無い程でありますが、果して是等の中で其の誇るだけの實價があり、又五年十年乃至それ以上の長い命數を保ち得るものが幾つあるでありませう。

信用ある會社の製品で長い間の研究と經驗の積まれたものを選ぶことが肝要と存じます。

多年の貴い經驗は百萬の廣告に優ります。經驗の累積は其の物の其の價値を語るからであります。

當三共の製品は悉く學理經驗の教ふるところのものであつて、何れも永年に亘りその聲價を保つ實力と權威とを備へてゐます。

消化藥タカヂアスターゼ、止血藥アドリナリン、脚氣藥オリザニン（ビタミンBの結晶）鎮痙性蛋白藥プロテンの如きを初めとし多數に上つてゐます。一層の御愛顧を希ひます。

三共の藥品を總說せる「三共の藥品」と題せる冊子（定價も記入）進呈いたします、新聞名記入御申込を願ひます

三共
SANKYO

東京・室町
三共株式會社

脚氣にオリザニン

脚氣に對するオリザニンの效果を綜合すれば――

(1) 食慾を增進し (2) 脈搏減少し (3) 呼吸減じ (4) 尿量增加し (5) 血壓上昇し (6) 數日にして輕快す。而もこれ原因療法なるが故に效果的確なり。云々の數項に歸納し得らる。

オリザニンは、上記の如く脚氣に對する決定的治療劑たると共に、人體必須の副榮養素なり……

オリザニンの補給によりて

姙、產婦は……姙娠嘔吐を防止し、便秘を去り泌乳佳良となる――
熱性病者は……食慾を恢復し、一般榮養を向上す――
虛弱兒は……發育佳良となり、成長促進せらる――
運動時の……心臟力を增強し疲勞を防止す――

錠・散劑・液・エキス・注射液各種

（說明書進呈）　東京・室町　三共株式會社

定評ある緩下劑
カスカラ糖衣錠
粗製品あり。御購求の節は必ず三共名義に御留意を乞ふ……
一瓶　100錠入　500錠入　1000錠入
三共株式會社

創傷に――
含嗽に――
オキシフル
最後の一滴まで效力を保有す。
オキシフル以外にオキシフルなし。
三共名義に御注意を乞ふ
100瓦　120瓦　500瓦　1キロ入
三共株式會社

グリコナール錠
盜汗に對し良果を奏す
特殊盜汗料
100錠入
三共株式會社

三共痔劑
アリヘミン
坐劑と軟膏
痔痛、腫脹、出血、瘙痒に對し卓效を奏す。
坐劑は　內痔核、肛門出血、內部裂傷等に
軟膏は　外痔核、脫肛、外部裂傷外皮部炎性諸症に
三共株式會社

ラクトスターゼ
本邦嚆矢の乳酸菌製劑
乳幼兒の下痢、消化不良、綠便に――
佳味・安全無害の良劑
末　30瓦入　100瓦入
錠　50錠入　100錠入
三共株式會社

隊列整へ進む樣は 正に無敵艦隊の如し！

小さいが勇壯な戰鬪魚

夏の長物 ……最近また觀賞魚が人氣を呼びはじめました、昔からある觀賞魚としては、夏の景物としてなくてはならぬ金魚が、例によつて、はやり廢りなく、どこの家庭も賑はしてゐますが、趣味の流行も實際的であることを條件として居る今日、觀賞魚といへば熱帶魚がピカ一として賞翫されるやうになりました

× ×

獨特の戰鬪性 ……元氣な點といふよりもむしろ、體こそ小さいが戰鬪性の充滿した——否、全く戰鬪性の塊のやうな熱帶魚こそ、實に夏の景物としては勇壯極まりないものであります、その中で、殊にマレー半島邊りに產するベツタカンボデイア、ベツタルブラなどは、いはゆる「鬪魚科」に屬するもの一と銘打たれる程のものだけあつて、體はどもあらうかと思はれる大きな鰭をふり立てて、その獨得の戰鬪性を現はす有樣は勇壯無比、これが行列をして進む狀況は、正に無敵艦隊といつた風姿を備へてゐます

× ×

鬪魚の種類 ……現在わが國に渡來してゐる鬪魚の種類としては、ベツタカンボイア、ベツタルブラ、ベツタスプレンデンス、クライミング・パーチ、ヌボツトグーラミ、ドワーフグーラミ、パラダイスフイツシユなどです、色は紫、青、赤、橙、白、灰色——といふ工合に種々あつて、しかも單色のみでなく、親の體色を傳へた斑のもありますが、一番美しく珍重がられてゐるのは紫で、高いものは一尾十圓位します、大體最低二圓見當ですが、これは變化のない白色に限られてゐます

× ×

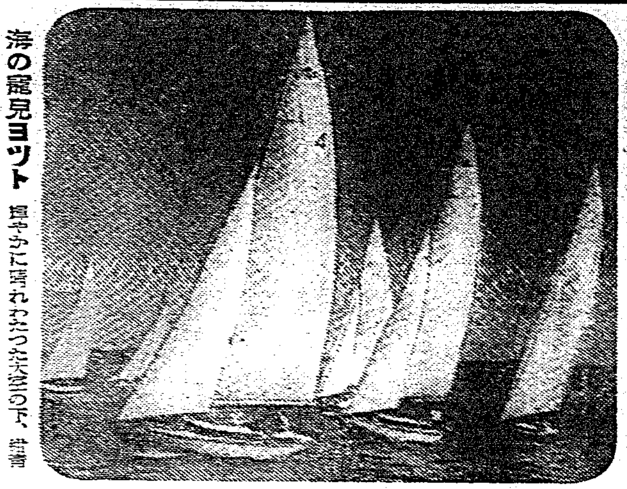
鬪魚の壽命 ……飼方のコツとしては、何よりも「熱帶魚」であるといふことを忘れてはいけません、更に寒氣を非常に嫌忌し、二十度以下に下らぬやうに注意することが肝腎です（十月始めから翌年五月頃までは、保溫の確かな部屋に入れておきます）——鬪魚はかなり丈夫な魚ですから飼方に氣をつければ、短かくても三年、普通數年の壽命を保ちます（雌の場合、産卵度數が多い場合は二年か二年半で斃れます）

× ×

容器の選び方 ……雄と雌とでは鬪ひませんが、雄同志となるとめちやくちやに喧嘩を挑みます、それで雄の場合は容器を別にしないと、一方が殺されてしまひます（大抵鬪ひはじめて一時間も經つと一方は全くヒヨロヒヨロになり、やがて斃れます）また、魚が發病する原因をなすものは、水にあるのですから、藻と砂と魚との調和を計り常に水を清潔にしておかねばなりません、水が濁つたならば上水を二三回少しづつ取替へるやうにします藻はバリスネリヤが一番いいやうです、餌は一日一回または二回イトメ十匹か二十匹を與へます

× ×

産卵時期 ……産卵は或る時期を見て雄・雌との容器を一週間位並べてお互ひに馴れさせ水面に泡が吹いた頃同じ容器に入れます雌は卵を二度に大抵二回宛産み下します、それを雄が浮巢に持つて上りますから、之が大體終つた頃を見計つて、また別の器に移します、この期間さへ巧に過せば產卵數の約半分を孵化させる事は容易であります、シヤムあたりでは、この鬪魚を飼つて、鬪鷄と同じやうな目的に使はれ、美しさよりも強さを非常に尊ぶ習慣があるさうです



海の寵兒ヨツト 目もさやかに晴れわたつた大空の下、紺青の海を切つてハイスピードで直進する華奢なヨツト、海の風は爽やかにわたり、白き大きな帆を孕んで波の上を滑る。ここには自由と歡樂とがある。夏の訪れと共にヨツトのシーズンが訪れる

新日本刀の共進會開く

六月丸ビルで

滿洲事變と其後の世相に反映して日本刀鍛錬愛好熱が頗る盛んになつたのは素晴らしく、日本刀鍛錬法は物凄く復興し最近では全國に二三十名の刀匠があり、鍛錬熱も益々熾烈化せんとするに至つたので、栗原彦三郎代議士らが主唱のもとに斡旋す、岡田首相、有馬、荒木、奈良の各大將、頭山滿翁、德富蘇峰氏らの贊成を得て日本刀鍛錬會が創立し六月一日から五日まで丸ビルに第一回、新作日本刀共進會が開かれることになつた（東京特信員報告）

雜誌紹介

▲婦人倶樂部（六月號） 姿顏を飾る新人愛謠 流行歌謠集は、女の友情、影を慕ひて、叱られて、からたちの花、サーカスの唄、東京行進曲、祇園小唄、國境の町、ベニスの舟唄、背徳草、それぞれ若い女性の胸をうつた新街の流行歌に、又太郎、比佐良、譲太郎、秀信、まさを、四郎、唯一、良爾の人氣畫家の畫を添へたもので好評を博することであらう、この他私が最も悩ましいと感じた御夫婦、妻にしたい女性を語る座談會、女のからだについて吉岡女史と女孔博士の座談會、出ない乳を出るやうにする新療法、及び一流大家の連載小說を滿載してゐる、別冊附録は家庭向夏の西洋料理と、（定價五十錢、東京市小石川區音羽町大日本雄辯會講談社）

▲浮世繪藝術（五月號） 鳥居清長追悼記念號として 骨我對面圖、螢ひの清書、風俗東之錦、婦女色引方、町圖、中村野監、出語り圖、幸四郎と遊女、手習ひ圖、風流十二支その他八葉の清長の版畫を精巧な原色版、コロタイプ版で印刷して口繪に收め、別に清長略傳、清長の藝術（野口米次郎）清長（服部靜也）清長と云ふ人（島田吉人）清長の着想と古正本 插繪の價値（木村捨三）中州の祭禮と清長の諸作（富田安二郎）清長作品目錄、清長補本目錄（樋口宗寅）清長之四番付目錄等を特輯して全誌を清長の研究にささげてゐる、四六倍判の有益な浮世繪雜誌である（定價一圓東京神田區須田町一ノ七巧藝社內共社）

▲經濟知識（六月號） 景氣天文臺として、金利、公債、株式、國際金融、人絹、セメント、百貨店インフレの前途を七氏が景氣診斷してゐる他時局的經濟日記、新語新聞語解說、景氣大地圖（二十五件）時事問題解說、讀者相談室等の經濟記事を滿載し、[illegible]松永安左衞門、下村宏、[illegible]四氏の[illegible]藤山[illegible]（[illegible]）[illegible]經濟讀物の中では異色あるものと推してよからう、專門家でなくとも手にとつて讀んでみたくなる程の編纂だ（定價五十錢東京市丸ノ內ビル[illegible]）

▲食養と漢方（六月號）[illegible]

東京畜產工藝學校

○本邦最初ニシテ唯一ノ學校○畜産工藝ノ實地家ハ時代ノ寵兒○三年修了ノ甲種實業學校○入學資格・高小卒又ハ中學二年以上修了者 ○無試驗入學許可○詳細問合セ直チニ入學セヨ○學校所在地 東京市世田谷區下馬町○電話・青山四九二六番

鐵道受驗就職

國有鐵道從業員一萬人募集發表あり 志望者は本會講義録にて學び受驗合格せられよ ハガキで申込次第會則見本及就職案內無代進呈す

東京市麴町區一ノ三五 東洋鐵道協會

三井勞連鎖店募集

大衆的 新食料品の 一手販賣權付與

一、一ヶ所一店限り設置す
一、永久權利確保獨占事業
一、資金貳拾圓ヨリ可能
一、本社直接取引永久責任指導す
一、申込先着順により決定
一、期日到達次第締切す

（詳細希望者・新聞名記入申込次第急送す）

東京市日本橋區檜町
三井合名會社商事部
食品課

心臟に肺炎にすくヨク利キ 日本丸

本舗 九州福岡市 岩尾昭太郎
電話一八五・二六六番 振替福岡六三番
支店 東京・大阪・名古屋・京城
代理店 東京・[illegible]大阪・[illegible]
（有名藥店ニアリ）

肺病全快の喜び 共に病み共に治った私達

二世を契つた夫婦ではありましても、同じ病の呪ひまで共にしなければならぬとは、何といふ運命の私共だつたでせう。[illegible]

富山市東町 加藤浩平 妻 マスヨ

矢野 テント

（カタログ進呈）

矢野テント商會 大阪 西區京町堀 東京 [illegible]

臺北市街圖

定價五十錢 送料四錢

發行所臺灣日日新報社

『どりこの』の主成分は人體活動の源泉たる葡萄糖、果糖、アミノ酸です

★美味しい美味しい頂く一杯一杯に★ 疲勞を恢復し健康を增進致します★

專賣特許の美味滋養料！

どりこの

全島の愛飲家皆樣へ大景品!!

『どりこの』一本お買上毎に[illegible]一枚を[illegible]いたします

▲一等 金側腕時計
▲二等 新型流行鞄
▲三等 絹張洋傘
▲四等 どりこの

今が絶好のお買入時！

髮洗ひ

花王シャンプー

黑髮さわやか！

貴女のお髮を理解した花王
シャンプーの御洗髮でこそ
その色艶！ その氣品！

よくおちて[illegible]花王シャンプーには髮の艶を增す美髮劑が含まれてゐます

一個五錢
日本髮ならば一回分
洋髮・少女方ならば二回分

東京・花王石鹸株式會社長瀨商會・大阪

S 162

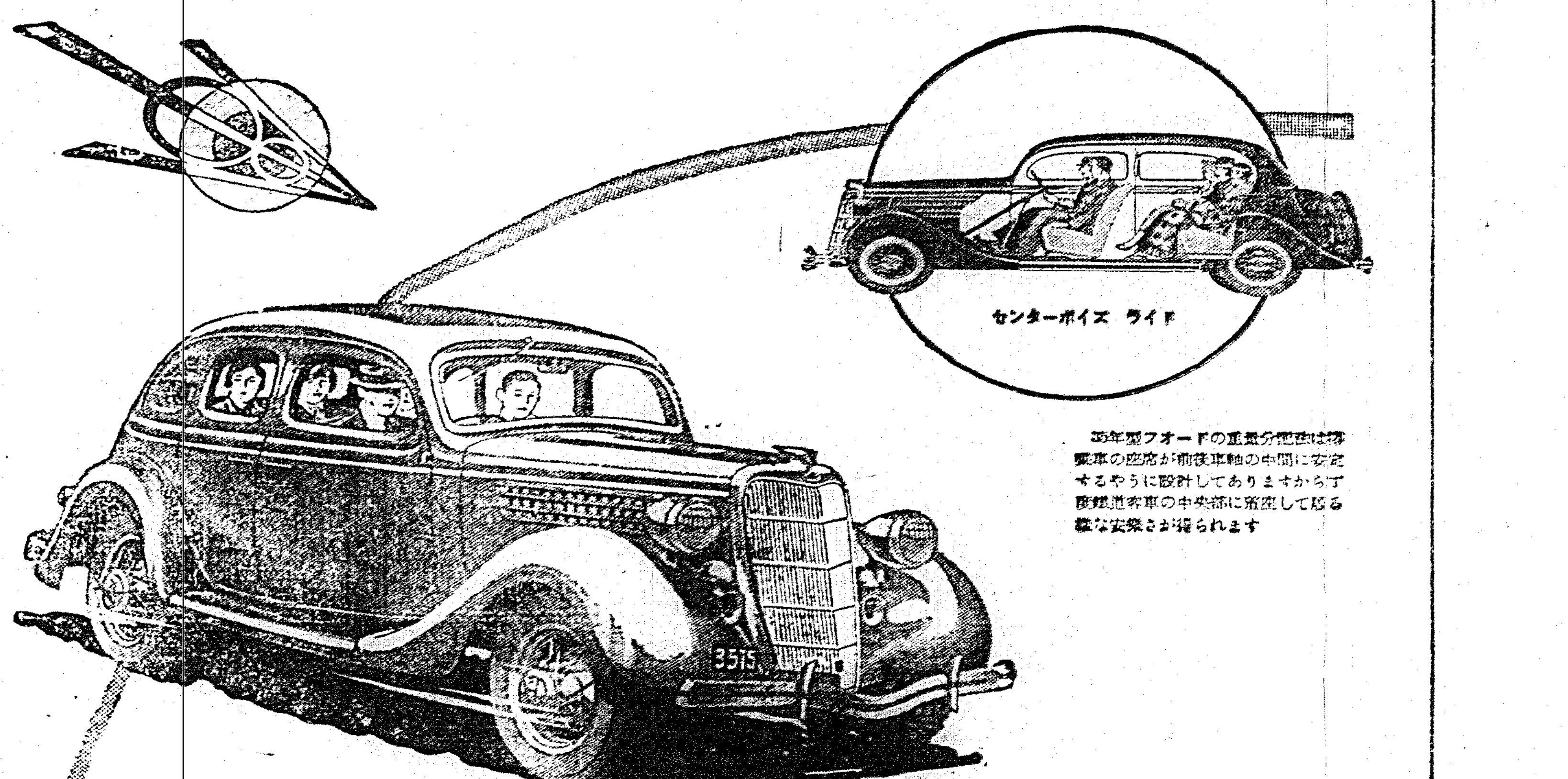
いんきんたむしにハウト

白毛を染ずに黑くする

白毛を毛根の發源たる毛根の組織を刺戟し色素を補強して黑髮となす新療法ハがきにて誌名記入申込次第說明書呈す 東京市中野區[illegible] 清水研究所

陽光あびた若葉のように ノーシンで頭腦は生々する

丈夫で德用な ナシヨナル豆球


センターポイズ ライド

35年型フォードの重量分配法は乘客の座席が前後車軸の中間に安定するやうに設計してありますから丁度鐵道客車の中央部に着座して居る樣な安樂さが得られます

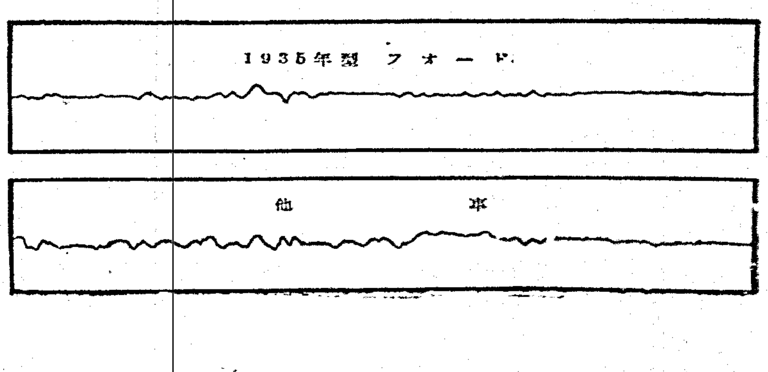
タクシー業者は流線型
フォードで利益增加

全國各地からの來信によれば三五年型フォードを御使用になるタクシー業者各位は他車より一日當り金八圓乃至十二圓位多くの收得があります。その筈です。流線型新フォードは直ぐ人目を惹き、又センターポイズ式乘心地は非常に爽快であるからであります

安全と言ふ點では窓、扉、風除等全部に飛散しない安全硝子が使用してあり、又全鋼鐵製車體は甲鐵艦のやうに堅牢です。そしてブレーキは正確、其操作は容易で、急速に停車が出來ますから乘客も運轉者も皆安心して乘れます

最近の調査によると大阪のタクシー會社十七軒では三五年型フォードを御使用になつた際所謂三五年型の他車より一日當り平均十二圓多くの收入があるとの事です。又ガソリン哩數では五ガロン當り平均約八十哩は樂に出てゐますが、各地からの報告を綜合しますと三五年型フォードは五ガロン當り八十五哩以上走行してゐる地方が多數であります

最近自動車の眞の乘心地を機械的に測定し又記錄する事が出來ます。下圖は同一の惡るい道路や滑らかな鋪裝道路で試驗した結果を示したものであります



日本フォード自動車株式會社
橫濱 子安

日本海大海戰

バルチック艦隊は
何故出て來たか？
壯烈な旅順口の序幕戰
思ひ出はここに蘇へる

思ひ出の日露大海戰

——はやくも三十年の星霜が閲したが、非常時の叫びと共に、茲に光榮ある五月二十七日の海軍記念日を迎ふるに際り、かの國難の追憶はまたも吾人の胸に蘇る——

明治三十七年二月八日駐露栗野公使が國交斷絶を通告するや、〔illegible〕上日露の國交は斷絶し、帝國海軍艦隊の速急手段として、仁川港の海戰となり、二月十日宣戰の詔勅は下された。海戰の前哨、世界の軍事專門家をして驚歎たらしめた閉塞は、難攻不落の旅順港口に、運送船を沈沒させ、港口を全く閉塞し、敵艦隊の出入を防止しようとする大冒險企畫であつた。二月二十四日深更の第一回に次で三月二十七日午前三時三十分に行はれた閉塞作業こそは全世界海軍通の眼を見張らしめた實に壯烈なものであつた。廣瀬中佐の戰死はこの時であつた

廣瀬中佐の奮戰

二月二十七日午前三時三十分、千代田丸、福井丸、彌彦丸、米山丸の四船隊は息りを潛めて旅順港口に近づいたが、一海里の場所に於て、遂に敵のサーチライトの爲めに發見され、黄金山砲臺からは一齊射撃が始まつた

ここに於て、千代田丸は艦隊の自由意の如くならず黄金山西側に於て自沈、廣瀬中佐の乘船福井丸はその左へ進んだ、逆に敵の魚形水雷にかかつて沈沒、更にその左に彌彦丸は自沈、米山丸は千代田丸と福井丸との間に於て、敵の魚形水雷のために沈沒するの止むなきに至つた

福井丸は港口目がけて進航中敵の魚雷に當つて船體の自由を奪はれたので、杉野兵曹は船底に下つて爆藥に點火しその使命を果すと共に斃れた。廣瀬中佐は杉野兵曹の行方を探すこと三度、遂にあきらめて、端艇に乘り移らうとした瞬間、黄金山から飛び來つた一彈は、中佐をさらふが如くにして四邊に爆發し僅かにメダル大の肉塊を殘したままで、全く言語に絶した勇壯無比の戰死を遂げられた尊い使命を果し、しかも部下の安否を氣遣ひながら遂に天空に逝く——軍神の名の捧げられる所以はここにある

この後も引續き閉塞作業は行はれたが、その都度閉塞と共に機械水雷を敷設する戰作業もそれに伴つて決行されたため　露國艦隊の心膽を寒からしめた

遂に四月十三日、港內にあつた露旗艦ペトロパウロスクは、港外へ目指して航行しはじめると見るや、忽ち我が敷設水雷にかかつて轟沈し、マカロフ司令長官以下六百名の死者を出すの悲慘を演じた

× ×

旅順艦隊すでに亡くなる上は、露國はバルチック艦隊を遣つて、極東艦隊と一聯を交へ、〔illegible〕日本本土と〔illegible〕の連絡を絶たうといふ計畫で、ここに前代未聞世界航海史上特筆大書すべきバルチック艦隊の出動を見るに至つた

思へば、かの四十餘艘のバルチック艦隊が、セント・アンドレーの將十字旗を翻しつつ、本國を錨出して二百二十日——一萬七千海里の波濤を蹴つて來航し、しかも日本海の藻屑と消えた大海戰史——吾々はここに海軍記念日を迎へて、また新たな感激を催させるを得ないのである

印度洋の荒波を横切り
遂に來た！露艦隊
永遠の記念日五月廿七日

三十七年十月十七日、それら大艦隊はバルチック海峽門ランゲランドを過ぎ、二十日デンマーク北端、二十五日スペイン沿岸ウイゴーを過ぎた、噂に依れば、夜襲上手の日本の水雷艇隊が、この海路にまで逆襲して潜んでゐるとのことに、恐を切つた該艦隊が、誤つて英船を撃沈せしめたのは、例の平家の水鳥一件にも比すべきであらう

十一月三日、ウイゴーを出發、三日アフリカ北岸タンジール着ここに於て艦隊を二分し、吃水の深い大艦はアフリカ南端を迂廻せしめることとし、ロジエストウエンスキー中將これを指揮し、小艦はスエズ運河を通過せしめる事として、フエリケルザム少將これを引率した、斯くて、十年一月上旬頃二分艦隊は合致、マダガスカル北をすぎて、二月十五日ノシベ泊地に入りここで一憩つた

一日の給炭に要する石炭は千噸といふのであるから、その補給を〔illegible〕計ることが出來ないこの本國から〔illegible〕から成る第三艦隊〔illegible〕の〔illegible〕を追うて出發した

× ×

三月十六日、千〔illegible〕里に浮る印度洋の荒波を横切り、四月七日マラッカ海峽を挿んだのであるが、この長途無事航行に於て、僅々三百噸の小型驅逐艦が落伍もせず、共について廻つたことは「よくも堪へられたものだ」と海界の語りとして今に傳はるエピソードである。

やがて、シンガポールを過ぎ、支那海を越え、十四日佛領安南カムラン灣に入つた

カムラン灣に〔illegible〕あるため、ここに於て、カムラン灣〔illegible〕事件を惹起し、日佛外交上紛議〔illegible〕事があつたが、結局、カムランを發して五月九日、本隊は第三艦隊と合し、ホンコーヘ着、十四日に至り、足手纏ひの不用船艇は本國へ返すこととし、一路北進へ向け乘込むこととなつた

× ×

しかも、ここが問題となつたのは、對馬海峽、津輕海峽、宗谷海峽その何れを通過して日本海に入るべきかといふ事である

しかも、露が最も恐れたのは、日本の水雷艇の夜襲である、三十八艘の大艦隊が長蛇の陣を張つて進んだのでは、忽ち發見されてしまふから、艦隊を二分して、一方は北海から、一方は對馬海峽から日本海に入らせやうとする企てもあつたといふが、一千海里に渉る〔illegible〕艦隊の燃料〔illegible〕は全く補給の不可能なことを察して、本艦隊悉く〔illegible〕を決し二十六日正午、濟州島南端を通過し、續々として東上した

これが廿七日午前二時三十分頃發見したのが、我が特務艦信濃丸（艦長成川揆大佐）であり、五島列島附近に於て敵艦隊包圍の報にありながら、よくその情勢を探つたものは、これまた重大な特務艦和泉（艦長石田一郎大佐）であつた和泉は敵艦隊と離れること八千米、明かに當時十二吋砲の着彈距離內にあつたわけである、かくて、遂に廿七日は來た、バルチック艦隊が姿を現はした、わが東郷艦隊は、午前十一時まで〔illegible〕して、徐ろに迎へた

大尊舵，直前　〔illegible〕

名譽の信號兵

この日、〔illegible〕晴朗ではあつたが日本海の風は激しく、吃水線上大浪は〔illegible〕に及び艦の動搖甚しく、敵味方艦隊共その命中は實に難しかつたのである、バルチック艦隊〔illegible〕午後一時〔illegible〕司令長官の發したZ〔illegible〕の一戰に〔illegible〕、各員〔illegible〕努力せよ」この一旗の信號は當時〔illegible〕信號兵の手記の如く信號兵の手に依つてヒラヒラと〔illegible〕揚げられたのであるが、この時の信號兵こそ、〔illegible〕であつた

× ×

かくて〔illegible〕から〔illegible〕入つた當時の戰況をここに列擧すれば次の如くである

戰闘狀態（二十七日午後）

一時四十分　左舷南方に始めて敵を見る

二時二分　相互の距離一萬米となる

二時五分　八千米となる、我が左舷回頭（逐次回頭）

二時八分　スワロフ先づ三笠を射つ（三笠回頭）七千米となる

二時十分　六千米となる、三

ロ提督重傷、アレキサンドル三世火災、我が艦隊回頭、先頭に日進、三笠しんがりとなり、戰闘左舷となる

三時　敵右舷回頭南走、三千米となる

三時十分　オスラビヤ沈沒、第四戰列に戻る

三時四十分　我一齊回頭、三笠先頭となり敵を追ふ、六千米となる

五時十分　我全艦隊發す、敵

を始めて發見（第二戰隊回頭）

二時二十五分　第二戰隊戰闘に加はる、敵右折

二時三十分　五千米となる、敵戰列外に去る〔illegible〕となる

二時四十分　オスラビヤ火災

二時五十分　四千米となる、スワロフ火災

の戰列を離れアレキサンドル三世再び戰列に復す

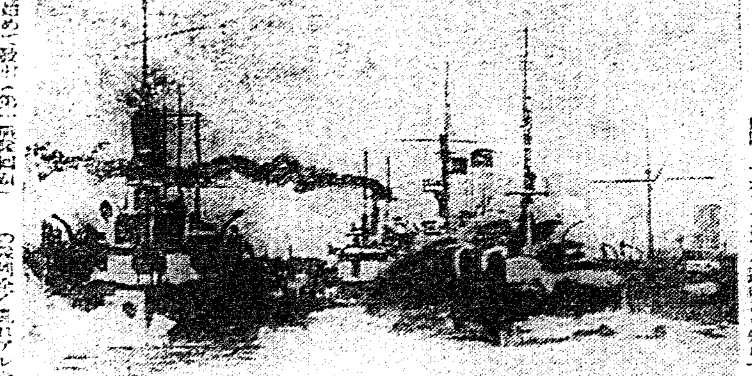
五時四十分　ウラル沈沒

六時　〔illegible〕、六千五百米となる

七時　アレキサンドル三世沈沒

カムチヤツカ沈沒

七時二十分　ボロヂノ沈沒（生存僅かに一名）スワロフ沈沒



威風堂々　リボウ軍港を拔錨せんとする露國第三艦隊！やがて全滅する運命とも知らず

敵艦見ゆ！との警報に
海戰の火蓋は切られたり
第三戰隊の大活動

海軍中將　山路一善

（〔illegible〕）

〔illegible〕

敵艦隊らしき煤煙見ゆ

敵の第二艦隊見ゆ地點二〇三

〔illegible〕

敵艦隊東水道に向ふ如く見ゆ

〔illegible〕

さうして〔illegible〕艦隊の〔illegible〕に〔illegible〕しました〔illegible〕に〔illegible〕しました

〔illegible〕

更に我はウラル號外一隻を砲撃して大損害を與へ、〔illegible〕の狀態にありました

〔illegible〕カムチヤツカは〔illegible〕、〔illegible〕のため大火災を起し〔illegible〕

〔illegible〕

これより先十一時四十二分、八千の距離に於て巡洋艦中左列のオーロラ、オレーグ及海防艦一隻より、我に砲撃を開始しました、距離なかなか良好で、我は赤城〔illegible〕を以て應戰しつつ、左四點の變動をなし少しく外方に出ました、之が日本海海戰の發端であります

之より九千內外の距離で探觸を保持しつつ漸次速力を增し、敵の前方に出まして午後一時二十分頃には既に敵の先頭を南西約一萬に見る位置に進みました、間もなく敵艦隊の大戰闘となつたのであります

此の時に三笠を先頭とする我が主力艦隊が右前方より左舷へ斜に航過するに出會し、敵艦隊は本隊の南西五浬に在ることを報告すると同時に我は針路を避けました、それより間もなく兩艦隊の大戰闘となつたのであります

× ×

第三戰隊は左舷に回頭して、第四戰隊と共に敵の後尾に向ひました巡洋艦オーロラ、オレーグ、イズムルド、セムチユーグ、スエートラナ、アルマーズ及假裝巡洋艦を包圍しつつ、北方に進みましたそれがため、我が一隊の攻撃と衝突するを避くる爲め更に回頭して〔illegible〕

〔illegible〕

決した敵艦の後始末の暇もなく、直ちに十六節に增速してこれに直進しました、途中ドンスコイ、セニヤービン〔illegible〕遠方に發見しましたが北方の大敵に向ふことの急務なるを知り〔illegible〕ことを報告しつつ北方に急進しました

× ×

午前十時我が主力艦隊は、既にネボガトフの率ゐる敵艦隊を包圍してゐるのを知りました、偶々第六戰隊よりイズムルド號一隻が〔illegible〕

〔illegible〕

日露兩艦隊の主力

〔illegible〕

露艦隊は

〔illegible〕

この世乍らの焦熱地獄
敵艦續々沈沒！

海軍中將　竹內重利

（〔illegible〕少佐）

天佑と神助により、我が聯合艦隊は五月二十七、八日、敵の第二第三艦隊と日本海に戰ひ遂に殆んどこれを撃滅することを得たり

……とは、東郷聯合艦隊司令長官の戰闘報告に掲げられた文句である、大海戰、我が艦隊の〔illegible〕は〔illegible〕地として〔illegible〕

五月二十七日午前八時五十五分〔illegible〕より「一八〔illegible〕地點に敵艦見ゆ」の〔illegible〕が來た、九時十分旗艦三笠より「〔illegible〕」〔illegible〕、〔illegible〕、序列に從ひ各隊順次に〔illegible〕、〔illegible〕が下つた、直ちに〔illegible〕して出動したが〔illegible〕であることが判つたので、〔illegible〕午後四時頃〔illegible〕の役より引返し

〔illegible〕なる加徳水道に假泊した

二十七日午前五時〔illegible〕信濃丸より「敵の第二、第三艦隊二〇三地點に見ゆ」との警報が到達した、此の時〔illegible〕のみは、〔illegible〕

〔illegible〕

〔illegible〕と命ぜられ、〔illegible〕は〔illegible〕

本日天氣晴朗なれども浪高し……とは東郷司令長官第一公報の〔illegible〕である、當日の風向は〔illegible〕にして風力六〔illegible〕

〔illegible〕

露艦首腦部　司令長官ロゼストウエンスキー中將（上）第二艦隊司令長官フエルザム少將（向つて右）、同ニンクスト少將（下段中央）第三艦隊司令長官ネボガトフ少將（向つて左）

三十周年記念

皇國興廢
在此一戰
各員一層
奮勵努力

敬書　海軍大將加藤寛治

左舷に傾斜して沈みゆくオスラビア

わが心臓は刺されたり

オレーグ號元海軍少將　エス・ボソコウ

ロジエスト・ウエンスキー提督の率ゆる艦隊の太平洋出現は日露戰爭に決定的の運命を與へるべき秋であつたのである。ロシア帝國政府は日本人を滿洲より驅逐せんとするに就いてあらゆる望を失つたので、日本の交通線の攻擊を加ふることによつて滿洲と日本を封鎖せんが爲め、太平洋に於て海軍作戰を企つることに決した

余は巡洋艦オレーグ號の副長として參加したのであるが、余の印象を解剖すれば我が敗戰の主因が我が技術上の缺陷にあり、日本海軍水艦の働きではなかつたと言ふことを明示することが出來る。而してその罪を我が士官や兵員に歸するのは不當である。彼等は勇氣凛々として終局まで其の職務に盡したのである

×　×

一九〇五年五月廿六日ロジエスト・ウエンスキー提督の艦隊は朝鮮海峽に近付きつつあつた。而してその翌日は陛下皇后の記念日に相當してゐた。日本海の海戰に特別の重きを加へるためであつたと見えて、ロジエスト・ウエンスキー提督は、速力を減し、四五の艦隊操練を行ふことに於て若干時を消した。されど艦隊の操練は長くは續かなかつた。さうして夕方に至つて提督は信號により來るべき戰鬪に對する最終の命令を吾人に傳へた。吾人は後になつて此の日が又日本皇后陛下の御誕生日に相當し同國人にとりて縁起なる日であることを知つた

×　×

五月二十七日、空は曇つてゐて風は南西カミであつた、午前五時吾人は信號により九節を以て航進すべき命令を受け艦隊は北西六〇度の針路を保ちつつ航行した。午前六時三十分戰艦オスラビアは信號を以て南西四〇度に敵の一巡洋艦を見たと傳へた

吾人は後に至りこれが日本の裝甲巡洋艦和泉であつたことを知つたが、午前八時十五分南方の巡洋艦八隻が北西一五度の方から現はれて來て、吾人との間の距離は縮減され、九時十五分には戰鬪の[illegible]が與へられた。しかし吾人は發砲するに至らずして之に別れた。午前十一時二十五分吾人は又もや北西六〇度の方向に數巡洋艦を以て成る一戰隊を見た。これは多分笠置、千歲、新高及對馬であつた、霧がかかつてゐたので日本軍艦の輪廓が不明であつたが距離は約一萬碼であつた

午前十一時十三分三番戰艦アドミラル・ウシヤーコフは第一彈を發射し、全左側列は日本の巡洋艦に對して直ちに砲火を開いた、敵は九千碼から六千碼に接近して、我に應射したが間もなく戰鬪を中止し、霧中に姿を消した

第一彈が發射されるや否や、我が牧師は基督の像と聖水を携へて艦內を巡廻し、乘員を激勵すると共に戰前に於て神の加護を祈つた

此の日乘員は古き海軍の傳統通りに新しき白ジャケツを著用し、恰も祭日に於けるが如くに戰鬪の準備をした

×　×

午後一時四十分、吾人は前方地平線上左舷の方に日本主力の輪廓を目擊した、間もなく吾人は四隻の戰艦と八隻の裝甲巡洋艦が我が左側の旗艦オスラビヤに向つて航進するのを認めた。此の時に當り我が第一戰艦分隊は第二、第三戰艦分隊の前方に占位し、次の諸艦より成る縱陣をつくつてゐた

第一分隊　プリンス・スワロフ、エムペラー・アレキサンドル三世、ボロヂノ・アリヨール

第二分隊　オスラビア、シソイ、ウエリキイ、ナワリン、アドミラル・ナヒモフ

第三分隊　エムペラー・ニコライ一世、ゼネラル・アドミラル・アプラキシン、アドミラル・セニアウイン、アドミラル・ウシヤーコフ

日本の軍艦は總て暗灰色に塗り、水より識別することが至難であつたと同時に、その行跡は殆ど發見しなかつた

×

これに比して我が艦隊は船體を黑色に煙突を黃色に塗り、石炭は濃き黑煙を吐き出してゐた。午後一時五十分吾人は日本人と同時に砲火を開いた、半時間の後即ち午後二時二十分プリンス・スワロフの後部煙突は射飛ばされ十分後には戰艦ボロヂノは列外に出たが暫く修理の後三番戰艦アドミラル・ウシヤーコフの後方に於て列の後部に入り列中に復した。兩艦隊は反對の針路を以て互ひに相會したので相互から遠ざかりつつあつた[illegible]のである

東郷提督は之を避けんが爲め陣的の運動を企てた、彼は我と並行の針路を採るに至るを目的とし、その艦隊に轉向を命令した。之が行はれたのは午後二時四十五分であつた、この運動は日本艦隊にとり恐る危險であつた。之は一定點に到達する各艦が順次左方へ轉針を行ひ、いはば運動不如意の狀態に陷つたばかりでなく、一方回轉を終つた諸艦は原針路を進みつつあるものと重なり合ふこととなつたからである。吾人は不幸にして乘ずべき此の機を逸した

東郷提督は平常にその運動を遂げ我が旗艦たるプリンス・スワロフとオスラビアにその砲火を集中して我が艦隊に對する[illegible]を[illegible]した。右の兩戰艦は、海面に於て[illegible]する砲彈の爲めに生ずる水柱や煙幕により包圍されたのである

×

オスラビアはこの砲火に耐へることが出來なかつた。而して[illegible]列を離れ、左舷に傾斜して[illegible]た。その瀕死的[illegible]が甲板から水中に落下するのを察し得たが、沈沒しゆく[illegible]の光景は悲慘であつた。これは[illegible]刀で心臟を刺す如くに吾人のすべてに對し一[illegible]なる印象を與へたのである

午後四時五十分、兩艦は北方よりする日本人の壓迫の下に北西に轉じた、午後六時[illegible]十分ー八時、我が艦隊は浦鹽への血路を拓かんが爲め、幾度となく北西及び北東に變針したけれど、之等の試みはその都度[illegible]日本の諸艦又は驅逐艦隊に出合した。これが十時に至る迄繼續したが、遂にその一切を放棄した。一部はマニラ行を決心した、巡洋艦オーロラ及びジエムチユーグは[illegible]海峽に向つた、補助巡洋艦アルマスと少數の驅逐艦は浦鹽へ逃げた

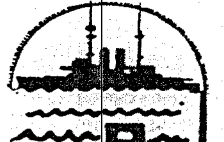
×　×

我が艦隊の敗走は[illegible]吾人のすべてが戰後に於ける神經的衰弱の狀態により、戰鬪や[illegible]それが幻影として現はれた

即ち會戰の翌日[illegible]吾人の多くは神經的の[illegible]たる各部から[illegible]を聞いたと思つたのである、戰後吾人は艦橋に出た時、時は正午頃で南西の針路をとり[illegible]海峽の[illegible]にあつたが、南方の地平線上に[illegible]、後には戰後の[illegible]が見えるものと思はれた

吾人は心を痛めつつこれを[illegible]した[illegible]

吾人は後に至り[illegible]この時迄に北方にある我が[illegible]が[illegible]軍に包圍されこれに降伏したことを知つたからである



日本海々戰の回顧

必滅を期して聯合艦隊敵に迫る

（一）

海軍大佐　酒井武雄

本二十七日は帝國海軍の日露戰爭記念日にして、三十年前の今明日に亙り、帝國海軍は其の全力をあげて、露國のバルチック艦隊を擊滅し、古今未曾有の大勝利を得た、之が爲めに、敵は全く戰意を失し、[illegible]會議の[illegible]を成した、露國[illegible]は[illegible]あつた

戰爭の原因

橫暴な敵の軍事行動

日露戰爭の[illegible]、下關條約により遼東半島を[illegible]還付せしめた露國は、[illegible]東支鐵道の敷設權を獲得し、且つ旅順港大連灣の租借權を獲得したのみならず、北淸事變を利用し、兵力を以て占領した滿洲の[illegible]を保有せんとして、淸國との間に[illegible]に至る交渉を開始したが、我國の抗議により、之が[illegible]に至つて[illegible]兵を[illegible]した

[illegible]しながら第二期撤兵の時期に至つて、露に其の[illegible]を[illegible]し唯に其の[illegible]を履行せざるのみならず、露國に對し、更に新要求を提出し加ふるに大規模の[illegible]を[illegible]に開始した

★　★

我[illegible]は實に[illegible]時代である、[illegible]の如く[illegible]國の[illegible]危險に瀕するに至つたので

我帝國は數次の抗議を露國に提出したが、露國は我[illegible]なる主張を容れず、益々[illegible]なる軍事行動をとり、[illegible]せんとするに至つたので、我帝國は遂に[illegible]を[illegible]切り、卅七年二月五日、露國に對し自由の行動をとり、[illegible]間に將來の保障を求める事に決し、佐世保に集中する東郷艦隊に大命が下つた

「天佑を確保して聯合艦隊の大成功を遂げよ」

これぞ征露第一の命令の全文であつて、其の[illegible]は[illegible]々として輝き「天佑」の二字無限の威嚴を示して全軍の士氣いやが上にも奮ひ立つたのである

★　★

所くて帝國海軍の一枝隊は、仁川に於て露國砲艦「ワリヤーグ」及び「コレッツ」を擊沈すると同時に主力を以て旅順港外に在る露國艦隊に[illegible]を加へ、更に裝甲巡洋艦[illegible]を以て[illegible]威壓を加へ、[illegible]八日六時、[illegible]に敵の出擊[illegible]を挫き、再度之をして[illegible]の餘裕なきに至らしめ、我第一軍を無事に朝鮮に上陸せしめた

★　★

開戰當時、露國は其の太平洋艦隊を二分して、主力を旅順方面に、裝甲巡洋艦隊より成る有力なる一枝隊を浦鹽に配置して、帝國海軍に備へ、別に極東派遣の途上に在つた小艦隊は、地中海方面に留つて居り、其の後間もなく歸國の已むなきに至つたのであるがそれに對して、帝國は若と其の全海軍力を日本海方面に集中し、開戰間際に伊太利で買收した日進・春日の兩艦も、一月九日新嘉坡を出發して來航中であつたからして[illegible]した譯である

★　★

開戰當時、露國の全海軍力は黑海艦隊を除いても[illegible]噸に上り、帝國の海軍力に對して、一〇〇對[illegible]の優勢を示して居つたに拘らず、實際極東に在つた彼我の兵力を比較すれば、左表の通りであつて、帝國海軍は寧ろ優勢であつた

國別	排水量（トン）	比率
日	二四六、二三三	一〇〇
露	一八四、五七四	七五

[illegible]一に備へて居た、我聯合艦隊は二月六日[illegible]として佐世保を出港した

★　★

旅順方面に配備された露國海軍に對する帝國海軍の第一擊は、能く之をして「マハン」の所謂要塞艦隊たらしめたものであるが、未だ敵に致命的打擊を與へたと云ふ譯ではなく、殊に[illegible]艦隊が[illegible]出擊して、日本海沿岸を[illegible]しつつあつた、帝國海軍としては陸上作戰の要求に應じ、一層[illegible]を[illegible]する必要があつたので、先づ[illegible]旅順港口閉塞を[illegible]し、[illegible]前後三回、旅順港口の[illegible]を敢行して、敵の心臟を衝からしめ、以て艦々陸軍を遼東半島に輸送する事を可能ならしめた

旅順の敵艦隊も、三月上旬「マカロフ」提督が司令長官となつてからは、[illegible]に活氣づき、[illegible]相呼應して屢々出動したのであるが、其の都度兵力を減殺するのみであつて「マカロフ」自身も最新艦「ペトロパウロスク」と共に爆沈して仕舞ひ、敵の受けた有形無形の損害は莫大であつた

★　★

然しながら帝國海軍としても、封鎖作戰の實施は、容易な事でなく五月中旬には特に大損害を蒙り、僅々數日中に戰艦初瀨、八島を始めとして貴重な艦艇を失つたのであつた

「マカロフ」の戰後露國艦隊は再び生氣を失ひ、絕えて出動の氣勢もなかつたが、其の中に我攻圍軍の作戰が進捗し、敵艦隊は背面から脅威を感ずる樣になり、其の結果六月二十三日及び八月十日の兩回に亙つて脫出を行つたが何れも失敗に終り、浦鹽艦隊も遂に日本海を脫し、時に或は太平洋に出で或は對馬海峽を脅し通商破壞又は輸送船を擊沈して多少の成果を擧げたけれ共八月十四日蔚山沖で大敗して、再起不能の狀態に陷つた

太平洋上に

露國第一艦隊全滅

★　★

旅順艦隊は八月十日黃海海戰に敗れた後も、尙依然として港內に[illegible]居たが、開城前大部分は我攻圍軍の砲擊に沈み、若干は我海軍の攻擊に潰え、殘部は中立港に逃避し、斯くて戰前初太平洋に在つた露國海軍は文字通りに全滅して仕舞つたのであつた

黒煙吐いて

正に對馬海峽に入らんとするバルチック艦隊

戰ひのあと……

大海戰の總決算

[illegible]

雄姿颯爽と

敵艦隊の東航

[illegible]

★　★

皇帝は二度艦隊に親臨して露國海軍の名譽を擁護すべき勅語を下し、艦隊の將士を激勵したのであつた。かくて同艦隊は二十二日の眞夜中、英國の東岸に於て英國の漁船隊を我水雷艇隊と誤認し之を擊沈したやうな失態を演じつつ、十一月三日、タンジールに入り、艦隊を二分して、本隊はロ長官自ら之を統率し喜望峰を迂回してマダガスカル島へ、枝隊はフエルケルサム少將の指揮下にスエズを經て同島に於て集合すべく分離行動を採るに至つた

★　★

卅八年一月六日兩隊は無線電信に依り漸く連絡を取り得るに至ると共に、旅順口陷落の情報を得、一月九日ノシベ島錨地に於て全く相合するを得た、一方露國の軍當局は[illegible]に海上の勢力を挽回し、[illegible]の後方連絡を遮斷すべし、第二艦隊の狀況、之を遂行し難しとせばバルチック海に殘留する艦艇を增派するも可なり、と訓電を發し二月十六日、四十五隻より成る艦隊の主隊はカムラン灣に向つてノシベを出港したのみならず、之第二艦隊のリボウ出港後に編成されたネボガトフ少將を司令官とせる戰艦一隻、海防艦三隻、裝甲巡洋艦一隻、運送船、工作船、病院船計十一隻より成る第三艦隊は、二月十五日第二艦隊に合同すべく既にリボウを出發して居るのであつた

★　★

斯の如くにして敵の艦隊は時々刻々東洋の海面に近づいて來た

我海軍は旅順[illegible]艦隊の擊滅と共に作戰上一段落を告げたので、更に之等遂次の派遣艦隊を邀擊するため、先づ以て艦艇の修理に着手することとなり、一部を必要なる方面に差し、各艦、各艇は交々內地に歸還して、或は艦底の修理を受け、或は大砲の整理を施し、或は汽罐を檢查する等[illegible]に從事してゐた

戰前既に

敵を呑む此氣慨

「新來の敵に對しては盤つて之を擊滅し宸襟を安じ奉ります」

之は露の本國を出發して東航の途中にある露國新艦隊を邀擊すべく、明治三十八年二月初旬[illegible]御下問に對する東郷聯合艦隊司令長官の奉答であつて、上は御稜威を戴き奉り、下は部下將兵の忠烈と技倆とを確認した大信念の流露であつて、正に史上に特記して、萬世に傳ふべきものであらう

★　★

惟ふに敵艦隊擊滅の素因こそ日本海に於て實現したれ、我が全勝の氣勢は既に此奉答の中に養成し神機もまた既に脈々と躍動してゐたのである

三月、四月と敵艦隊の接近が時々刻々迫つて來ると同時に、我將士の訓練は、日々夜々に白熱化して來た

かの東郷長官の訓示にもあつた通り「**敵の來らざるを恃むことなく、我常に待つあるを恃み**」で鎮海灣頭の猛訓練を[illegible]したのであつた

大山將に來らんとして風雲正に急ならんとするや、上は艦長より下は一兵に至るまで、全艦隊の將卒[illegible]は、日も[illegible]足らず[illegible]激しい訓練に、其の[illegible]どん底には、[illegible]、其身體はへとへとに疲れながらも、[illegible]を[illegible]すると共に、[illegible]知れぬ[illegible]の如く、[illegible]つて居たのであつた

★　★

夜更けて人影になつた甲板上の[illegible]兵が[illegible]るやうな月光の下に佇める時、[illegible]の如き勇者の[illegible]は[illegible]の如く艦內に[illegible]眼中又敵なしの[illegible]あるのみであつた、[illegible]備は完成した、今は[illegible]手ぐすね[illegible]

けれ共露國海軍軍令部の容るる所とならなかつたので、[illegible]待つ事一ヶ月、五月九日カムランを[illegible]北四十餘海里に在るヴアンフオン灣に於て漸く第三艦隊と合同したのであつた、其處で、五月十四日愈々朝鮮海峽に向つて航行を開始し、[illegible]の南方より[illegible]列島の東方を迂回して、二十五日には上海の沖合に到達し、一部の運送船を上海に殘ち、ロ提督は艦隊三十八隻を率ゐ、二十七日の正午を以て朝鮮海峽の中央を航過する如く艦隊の行動を豫定し、二十六日正午には濟州島の南、約六十浬附近に於て約四時間の艦隊運動を行ひ、[illegible]を[illegible]にして朝鮮海峽に向け[illegible]北上して來た

★　★

我艦隊の首腦部では、[illegible]の如き東郷司令長官を始め、[illegible]の如き加藤參謀長や[illegible]の如き秋山參謀などが、上村、片岡、出羽、三須、瓜生、島村、東郷、武富、山田、小倉等の諸將と共に寄々謀議を凝らされ、彼の有名なる七段備への戰法を以て、嚴密なる監視の下に對州海峽を扼して居たのである

第三、第四第五第六第七戰隊は、或は尾崎附近に、或は五島方面に假裝巡洋艦數隻は遠く海峽の西方海面に出動して、夫々哨戒に從事し、主力たる第一第二戰隊は鎮海灣附近に在つて、敵の北上に備へて居た、炭水は滿載せられ、砲彈は整備せられ、將卒の士氣はいやが上にも張り切つてゐた

★　★

斯くて五月廿六日の夜は過ぎて全世界の海戰史上に特筆大書せらるべき大海戰日たる、五月二十七日の午前となつた、東方の水平線上に、一抹の雲煙が薄ボンヤリと黎明の曙光を投げ掛け初めた午前四時四十五分、突如一閃の飛電は哨艦信濃丸から、對州海峽の曉霧を破つて全艦隊に「**敵艦見ゆ**」との警報を與へた

★　★

[illegible]に在つた片岡第三艦隊司令長官は、之を東郷司令長官に轉ずると同時に、麾下艦艇に各豫定の配置に就くべきを命じ、自ら第五戰隊及び第十一、第十六、第十七、第十八、第二十艇隊及び[illegible]を率ゐて對州東水道に向つた

東郷長官が「**敵艦見ゆとの警報に接し、聯合艦隊は直ちに出動之を擊滅せんとす、本日天氣晴朗なれど波高し**」との千古の名文を以て第一の報告を大本營に打電されつつ、第一第二戰隊を率ゐ、沖の島の北方を指して、鎮海灣を出動されたのは、正に午前六時であつた

★　★

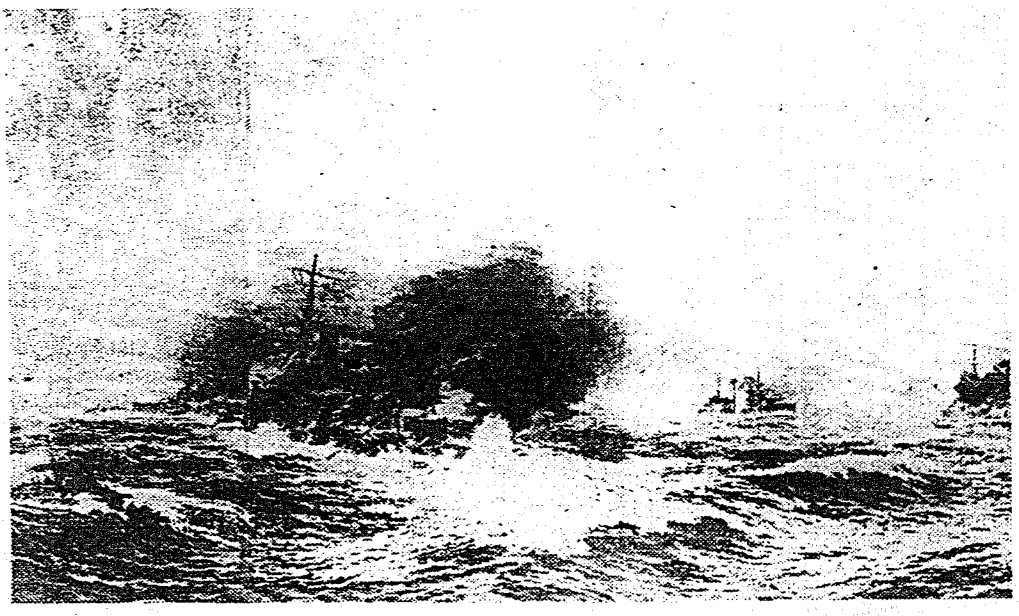
見渡せば大小の艦艇四十餘隻は檣頭高く大將旗を翻せる旗艦三笠に率ゐられ、威風堂々海石を壓し[illegible]々たる煤煙を天空にたなびかせつつ、艦艇の將卒は勇み立つて甲板を踏む事[illegible]、再讀して、[illegible]一路の大舞臺に乘出して行く、勇壯な光景は[illegible]を通り越して形容すべき言葉もない。哨艦よりの報告は、相繼いで來る、嚴島和泉からは、敵艦隊の編成より陣形、針路、速力等に至る迄、巨細の狀況を遺憾なく報告して來る

★

敵は正に我中の鼠である、敵が對州東水道を通過せんとするのを知つた我主力艦隊は、之を沖の島附近に邀擊するに決し、午後一時過同島の北方に達し、敵航路の前方を扼して、恰も獅子に追はれ[illegible]を待つが如くに、網を張つた狀況に占位した、午後一時十九分には出羽司令官の率ゆる第三戰隊が南西微南に[illegible]もなくして第五、第六戰隊を西方に認めた

午後一時三十九分、南西遙の水平線上には、黃土色の煙突が所謂の雲氣の中から、ずらりと並んで見え始めて來た

敵艦は長蛇の如く海面を覆うて航進して來る有樣は、敵乍らも天晴れの武者振りである、戰策を率ゐる[illegible]は三笠の最上艦橋に立たれた東郷長官の緊要信號には、三笠の南々西約七海里に二列縱陣の敵艦隊が、右翼列の先頭には、ボロヂノ型戰艦四隻より成る一隊を先頭に位置せしめ、其の後方には、ニコライ一世外三十隻の艦船が、敵將旗に至り雲霞として[illegible]して來るのが[illegible]された



沈みゆくオスラビヤ

日本海大海戰午後三時半の光景、後方火災に惱むのは（スオーロフ）（アレクサンドル三世）（ボロヂノ）の三艦、左端はオスラビヤを救はんとして進行し來つた驅逐艦（ブイヌイ）

兩軍の兵力

兩軍の兵力は左表の通りである

國別	排水量（噸）	比率
日	二一七、八二一	一〇〇
露	一五〇、三八五	六九

然し乍ら當時は全兵力が主力部隊の決戰に參加した譯ではないからして、主力部隊を構成した戰艦及び裝甲巡洋艦の兵力は、實に勝敗の決定的要素であつたのであるに依つて其の兵力を比較すれば左表の通りである

國別	艦種	排水量（噸）	比率
日	戰艦裝巡	[illegible]	一〇〇
露	戰艦裝巡	[illegible]	[illegible]

日本艦隊

艦種	隻數	兵器
戰艦	四隻	十二吋砲十六門
裝甲巡洋艦	八	[illegible]
舊式海防艦	二	[illegible]
巡洋艦	十六	[illegible]
通報艦	三	[illegible]
砲艦	[illegible]	五小口徑砲七五八
驅逐艦	二一	
水雷艇	四一	
特務艦	八	直接戰鬪に參加せず
總排水量	二一七、八二八噸	

バルチック艦隊

艦種	隻數	兵器
戰艦	八隻	十二吋砲廿六門
裝甲巡洋艦	三隻	十吋砲七門
裝甲海防艦	三隻	八吋砲十二門
巡洋艦	六隻	六吋砲三十八門
驅逐艦	九隻	小口徑砲四百九十七門
特務艦船	九隻	
總排水量約		一五〇、三八五

前表の外病院船二隻が從屬してゐたり

浦鹽艦隊

艦種	艦名
裝甲巡洋艦	ロシーヤ
同	グロモボイ
巡洋艦	ボガツイク
水雷艇	約十二隻
潜水艇	若干隻

三笠の檣頭高く さつと飜つたZ旗

砲火相見ゆる迄の半日

元第一艦隊旗艦三笠乗組　鹽澤喜代作

二十七日午前三時春まだ寒い夜中を、濟州島から肥前五島の沖合迄を哨區として警戒の任にあつた小村少將麾下假裝巡洋艦信濃丸の艦橋では當直將校が信號兵と共にナイトグラスを以て、頭に闇の海面を捜索中、遙に左舷に明滅する幽かなる汽船の燈光を認めたが生憎其時、東に低く月光がさし信濃丸は月と汽船の中間に挾まれ船體の確認困難の爲め、是非なく船尾を迂廻し、右舷から月に透して見た所、三本マストの二煙突の船である。しかし其構造、附近海上に見馴れない大汽船が、東北東朝鮮海峽に向ひ、規定の航海燈も灯さずに航行して居るのは、怪しい極みと認め、艦長成川大佐は、斷然之を臨檢し樣と尾行し午前四時四十分頃東天僅かに紅を帶び、敵艦影々判明し掛つて來たから、臨檢の將兵を送るボート卸し方の準備中、當直信號兵が興奮の口調を以て

「艦長！左舷艦首に敵艦隊らしいものが見ます」

× ×

此意外な報告に、艦內俄かにどよめき期せずして一同雙眼鏡のレンズをそれに向けると、成程段々と東の白んで來る霧の中で、はつきりとはしないが、艦首から左舷正横に連る一帶に五隻、八隻模糊として十數の艦隊が浮かび出た

正に是れ海上の大部隊！言はずと知れた、吾等日本艦隊の將士が半歲に亘る長日月此海峽で、待ちに待ちたる好敵バルチック艦隊である。何時の間にか燈火を消して居た　彼等の中央千五百米突位の近距離に突き込んで周り危險極まりなく、今にも其砲撃を受け撃沈の憂目に逢ひさうな位置に在り乍らも、艦長は哨艦の任務上一刻も早く之を本隊に通報すべく、無線電信係に命じ、「敵の第二艦隊見ゆ」と言ふN符合連發の緊急信號を火花も強く發信せしむると同時に、面舵一杯取つて退出を企てた

無論此場合、艦長は敵の十字砲火を浴びせらるゝ覺悟で居たが、濟州南部から不眠不休の警戒航行に心身を勞し、而も此邊の霧氣に馴れない彼等は一向に氣付かず、何等の迫害も加へなかつたのは、獨り信濃丸の幸運許りでなく、軍全艦の作戰に勿怪の幸であつた。

× ×

鎭海灣根據地に於て敵艦見ゆとの警報に接した、我主力艦隊は「總艦隊直ちに出港」の命を受け、指揮官東郷大將は將旗を三笠の大檣頭に掲げて、自ら軍の先頭に立ち續く敷島、富士、朝日、春日、日進を直率部隊とし、上村中將は出雲に座乗手兵として第二戰隊を提げ瓜生中將は四戰隊を率ゐて浪速號に通報艦の龍田と千早に驅逐艦を具して右側に占位し八代大佐の淺間は驅逐隊と艦隊の一部と共に特別任務に就く等、威風の堂々として軍容の整然たる實に物凄く、艦行隊形の若長は特に五將旗を超え、右舷の砲は將卒のたつかと計りどよんで寒氣浸りなく、乗組將士は早くも既に敵を否むの概があつた

× ×

本隊は哨艦からの情報を綜合して交戰地點を沖島附近と推定、一氣之に驀進した。本日天氣晴朗なるも前夜以來力五乃至六に達する南西の疾風檣桁を拂ひ、波頭る高く、驅逐隊、水雷艇隊の航行は困難其極に及び、一時尾崎灣に避難した隊さへ有つたが、海上は霧氣深く眼界五マイルを出ないから、進入軍に利用されぬ探哨艦の苦心は並大抵ではなかつた

× ×

信濃丸の觸接哨隊に因つた、第六戰隊の和泉は、適宜に觸接しつつ午前七時五島の西方沿霧の中に鈍艦接近の醜く樣な敵の大部隊を發見するや、裝甲もなき三千噸未滿の小型巡洋艦乍ら、奮戰極まる艦長石田大佐は、着彈距離以內時には千米突位に迄も突進し、小艦な敵の砲彈を物ともせず、最も精密に艦種、艦名、隻數は勿論刻々に變化する針路、陣形、速力等を詳細に調査、無線の連報を怠らなかつたので、東郷司令長官以下我艦隊の首腦部は、數十海里も離つる敵の動靜が手に取る如く判明し用兵作戰に利する事が頗る多かつた

× ×

吾等鎭海を出動した主力は、途に對馬沿岸から行動を起した、片岡第三艦隊の一部をも序列に加へ一擧に敵を殲滅すべく、合戰準備に取り掛り、各艦は先づその第一作業に豫備として、上、中甲板及砲甕附近に山と積まれて在つた石炭の捨て方、續いて今日の戰闘に壘國のため貴き血を以て彩る艦內の消掃、或は我砲火の威力を增大する索具、鐵柱等の處理、燃燒物を片付けて、防火の用意、炸裂砲彈の破片を防ぐマントレット、及釣床の增設、兵器の手入等艦內作業の一般を終つたから、總員身體を清めの鈔令で身裝を整へ、折目正しい軍服に着替て、心靜に開戰の時期を待つて居ると　副長の計らひで酒の外、酒保も許され、煙草餅など噛しり乍ら、最後の語らいをして居る內、軍歌の合唱や、蓄音機の演奏等で心身を練る暇も多々あつた

× ×

午前十一時少し早目に晝食を濟まし、是で一切の合戰準備を完了致したから、自來同じ休むにも砲員は砲側に、水雷部員は發射管の側に、各員各自の戰闘配置附近で休養して居るが、中には戰を目睫に鼾をかいて睡て居る姿を艦內巡檢の副長に發見され、戰友があわてて起さうとすれば、平生風紀に喧しい副長も、今日ばかりはさも嬉しさうに微笑を洩らし乍ら、其儘其儘と却つて靜かに急ぎ行き過ぎるのであつた

× ×

斯くする內出羽第三及び依仁親王殿下の千代田艦長としておはす東郷（正路）第六の兩戰隊は、和泉に次で敵艦隊を對馬神崎の南に發見、自ら有する高速を利用して近く一、二千米に迫つて砲火の交換を成し、或は遁るが如く七、八千米以上にも走り　巧なる操艦を保つて其狀況を報告し乍ら、主力部隊の所在地に誘導し來り、彼我の距離は漸く近つき戰機追々熟してきたから、艦の耳目たる信號兵を檣頭に登せ、更に將校以下望遠鏡に遠く敵艦隊の捜索に努む

午後一時二十分適度に敵をあしらいつた三笠の檣樓上に、[illegible]に合し戰機全く熟し、殺氣天地に漲つれば、先頭に進む三笠先づ旭光紅にして燃えん許りなる戰闘旗を檣頭に翻へして、軍威の隆盛を示せば、序列內の各艦之に倣ひ軍艦旗、司令官旗と共に日本海上時ならぬ櫻花の爛漫たるが如きを見る

× ×

一時三十九分南西方面に右舷艦首立込めたる霧氣の上部に、黑煙檣の浮かび出たる如く內地に艦×形の軍艦旗を掲げたる露國艦隊の船體は、未だ見えぬが、マスト丈け頭を出し初めた時には、實に何とも言ひ知れぬ氣分が全身の血と共に流れるのを覺えた

丁度其瞬間三笠の右舷桁端に翻と掲揚された、只今では全國民中誰一人知らぬ者の無い有名なるZ旗一旒の信號は、分時に視界內の全艦隊に通達せられ、皇軍の士氣は彌が上にも昂り必ず敵を殲滅して君恩に報いずんばあるべからずの念を燃えたたせた

新刊紹介

◆米を繞る農民と米商の爭鬪

（[illegible]著）日本國民の主要食糧である米穀問題は生產者たる農民、消費者及び其の中間に介在する商人の三者の關係に於て複雜、困難な問題となつてゐる、其の解決の爲めに政府は第六十七議會に米穀自治管理法案を提出したが全國の米穀商の反對で議會は審議未了に終らしめた、本書は此の經過を詳細に述べたものである經濟問題として、社會問題として更に政治問題として重要な此の問題の研究に就いて詳細を極めた著者であり其の根本的解決に就き參考とつ示唆を得つ　食糧の自給問題解決の一資の重要な文獻であらう（四六判上製本三百六十六頁、定價一圓、[illegible]東京市麹町區內幸町一ノ三　[illegible]館）

◆十年史改 滿洲讀本

（東亞經濟調査局編）滿洲の一切早解りの手帖便利な著、前の昭和八年版を基準として最近一ヶ年間に於ける主なる變化につき補修改正を行つたものである、建國經過から初まつて國務當局、住民、產業、交通、貿易の各部門につき基本的事項を提示した內容である、[illegible]滿洲國並に主要都市を收む附錄として關係條約、統計あり、挿入寫眞もいいものを集めてゐる、[illegible]の讀者に[illegible]、滿洲國の姿を[illegible]たものといふべきであらう（[illegible]定價一圓、[illegible]）

若葉に薫る微風
ほのかに汗ばむ肌膚
朝の洗顔夕の入浴に

作用は極めて緩和く、肌膚を荒さぬ
◎ミツワ石鹸
が手觸りしつとりと肌膚を滑澤に整へます

中途に溶崩れず永保して經濟第一
理想の化粧素地を作る整肌作用

要るだけ溶けてムダのない
◎ミツワ石鹸

Mitsuwa Soap
MADE IN JAPAN

ミー坊より

普通の安全剃刀の替刃は『カーボン』鋼で、大抵〇・二五ミリ乃至〇・一七ミリの厚さでありますが、ミツワ替刃は品質からして全く違ふ『クローム鋼』で、〇・一三ミリの薄刃であります。亦新發賣の極薄刃は〇・一〇ミリであります。右特製〇・一三ミリ及び極薄刃〇・一〇ミリの兩種とも實に良く剃れます。ミツワ石鹸の泡をつけた剃味は爽快の二重奏であります。

本舗 東京・兩國 ◎丸見屋商店

◎ミツワ石鹸の種類

大形	2	中形	13
小形	10		

◎煉製化粧用

三十番	8	百番	16
十五番	15	百五十番	16
二百番	20	フローラ	20
ワツナギ	10		

天使（86）

（禁上演映）

横光利一

宮田重雄畫

八の一

貞子はその後、幹雄の家から離れなかつた。しかし、幹雄は貞子に、無理に出て行けとも云はなかつた。この二人の同棲生活は、一體何とも云へぬ、奇妙なものであつた。

勿論、幹雄は貞子と一緒に生活してゐるとはいへ、絶對に夫婦のやうな、行爲はしなかつた。夜眠るときにも、彼は女中に命じて、寝床を二階と下とに別けさせた。

まア云はば、この二人は、病院の二人の生活を、再び始めたやうなものであつたので、貞子にしても、夜毎の寂寥を思へば、何の苦勞もいらなかつた。けれども、彼女には、幹雄の奇妙な心理が分らなかつた。もう愛が自分から去つたのだと思ふと、滅入るやうな心痛を覺えたが、これも必ず、自分に對する幹雄の復讐であらうと思ふと、ますく強く、貞子は踏み止まる決心になるのだつた。

こんなになると、貞子の意思は頑固として動かなかつた。幹雄は貞子のその頑固な態と、敵對心とを感じると、彼も彼で、いよく貞子に對して、冷靜になつていつた。

彼は何事か用が出來ると、看護婦を使ふやうに、貞子を平氣で動かして、寛大を見せやうとしなかつた。日給も、夜になると、わざと皮肉に、きちんと貞子に支拂つた。初めは貞子も、日給だけは受けとらうとしなかつたが、何か幹雄に考へがあるのだらうと思ふと、それも受けとるやうになつた。

幹雄はだんく、家へ歸る日が少くなつた。

或る日、幹雄は雪子に逢ひに、相互ビルへまた行つた。

雪子が來ると、二人は外へ出た。幹雄は裏通りの裏の鋪道を歩きながら云つた。

「君の姉さんといふ人は、全く奇妙な人だね。もう良い加減に家へ歸るだらうと思つてゐるのに、ちつとも歸つていつてくれないんだが、君も我慢がしたから、なるべく早く歸るやうに、さう云つてくれないかね。さうでないと、こんなこと、いつまで續けたつて、仕様がないんだから。」

「だつて、寺島さん、あのやうに仰言つたんぢやないの？」

と雪子は寂しさうに訊ねた。

「そんなこと、無理なものか。僕としては、貞子さんが歸らぬといふから、追ひかへすわけにいかないんですよ。病院での義理があるからね」

「だつて、そんな義理は、もうすんでしまつてゐるんぢやない？」

「しかし、僕は永らく看病してもらつたんだからね。」

「あの姉さんは、さうなの。意地になり出すと、どんなことがあつても、後へは引かない人なのよ。あたしそれで、ずい分困らせられたわ。」

そのとき、幹雄は、突然さつと不安な氣持ちに襲はれた。この話を雪子が聞いたなら、貞子はきつと自殺するにちがひないと、さう思つたからである。

しかし、何が恐いのだらうか。彼は雪子が誰かと結婚するまでは誰とも結婚したくはないのだ。と彼は思つた。

「雪子さん、あなたは、有原さんの家へ、その後行きましたか。」

「ええ、行つたわ。」

「どうです。親切にしてくれますか。」

「ええ、とてもよ。」

と雪子は云つて、嬉しさうに、斜めにこく笑つた。

「あの聰造といふ人は、どうしてゐます。」

「あの方、それや親切たいい人だわ。」

ラヂオ

午前の部

【九・三〇】 講演 女性[illegible]（臺北）臺北帝國大學[illegible]

【一〇・一〇】 家庭講座 料理獻立（臺北女子高等學院 原田久代女史）[illegible]の御料理△冷し[illegible]△あらの[illegible]作り△[illegible]△枝豆のみそれ寄せ

【一一・〇〇】 日用品小賣相場（各局）△農業紹介事項（各局）△午後の放送番組紹介（各局）

午後の部

【一一・五九】 正午の時報△氣象通報[illegible]

【〇・一〇】 放送局[illegible]ニュース

【〇・二〇】 晝間娛樂時間（レコード演奏）講演三笠艦保存記念式に於ける祝辭、海と空博覽會に於ける祝辭故元帥海軍大將東郷平八郎△軍歌一、皇國大海軍の歌 二、海軍記念日の歌 コロムビア台唱團△管絃樂 日露戰爭[illegible]組曲 リーガル・オーケストラ、吹奏樂 大海軍行進曲 横須賀海兵團軍樂隊

【〇・五〇】 經濟市況に引續き內臺定期航路入港時刻と接續列車時刻のお知らせ鐵道部運輸課發表

【一・四〇】 全國氣象通報（東京）

【五・〇〇】 子供の時間（東京）童話劇 日本海大海戰（西井慶三作）コドモのテキスト第二十二ページ東京放送童話劇協會

【五・二〇】 コドモの新聞（東京）村岡花子

【五・一五】 英語講座（臺北）初等科第二十一講 上村一仁

【五・五五】 カレント・トピックス（東京）

夜間の部

【六・〇〇】 子供の時間（臺北）レコード演奏△吹奏樂 一、軍艦行進曲 二、敷島艦行進曲 帝國海軍軍樂隊△軍歌 海軍軍歌集 陸軍戶山學校軍樂隊△兒童劇 防護中佐 タイヘイ兒童劇團

【六・三〇】 講演（東京）

日本海大海戰を回顧して 軍令部參議官海軍大將小林躋造

―海軍の夕―

【七・〇〇】 海の歌謠曲（一）一、海國大日本（海野啓一作詞、[illegible]作曲）二、海軍[illegible]（西條八十作詞 細川[illegible]作曲）三、護れ太平洋（西條八十作詞 村越國保作曲）四、名譽の信號旗（長田幹彥作詞 三宅[illegible]作曲）五、誇る軍艦（海野啓一作詞・[illegible]作曲）市丸 小唄勝太郎、小野巡 合唱 日本ビクター合唱團、伴奏 日本ビクター管絃樂團

海の歌謠曲（二）一、我等の海軍（六車修作詞 山田耕筰作曲）二、海の護り（武富海軍大佐作詞、江口夜詩作曲）三、俺は水兵（海野啓一作詞、山野幸子作曲）四、いきな水兵さん（佐藤惣之助作詞 佐々紅華作曲）中野忠晴、小梅、三味線 三代吉 [illegible]、合唱 コロムビア合唱團 伴奏 コロムビアオーケストラ

【七・三〇】 ラヂオ・ドラマ（東京）△海魂躍る（宮澤縱一作）[illegible]太郎、柳永二郎、大矢市次郎 伊志井寬その他

【八・〇五】 吹奏樂（東京）海軍記念日の歌（海軍軍樂隊及部作詞 海軍軍樂隊作曲）外二曲 帝國海軍軍樂隊 指揮 內藤清五

【八・二〇】 時報（東京）

【八・二一】 詩吟（臺北）（臺北、臺中）福井[illegible] 一、國民精神振作（佐田百川作）二、旅順閉塞（森下海天郎作）三、浦鹽攻擊（[illegible]布川新平作）四、兵卒書（末松謙澄作）

【八・三二】 歌謠曲（臺北）[illegible]林氏好、ピアノ伴奏 高氏秋蘭、サキソフォン助奏 鄭有忠 一、春怨（黃金火作詞 [illegible]作曲）二、雨夜々（[illegible]作詞、鄭有忠作曲）三、遙かなるサンタ・ルチア（伊太利民謠、[illegible]子作詞）四、歌劇「メリー・ウイドウ」ヴィリアの歌（レハール作曲、[illegible]譯詞）

【八・五〇】 吹奏樂（臺北）臺北音樂會、指揮 和田[illegible] 一、行進曲「太平洋」（江口夜詩作曲）二、序曲「夜を越えて」（ローザス作曲）三、描寫曲「海戰の思出」（臺北音樂會編曲）四、行進曲[illegible]（瀨戶口藤吉作曲）△軍歌（臺北）[illegible]合奏 臺北音樂會 一、軍艦マーチ（[illegible]作詞、瀨戶口藤吉作曲）二、[illegible] 三、日本（[illegible]作詞、[illegible]作曲）

家庭医學

脚氣の人に喜びの新療法

夏季の倦怠、疲勞も此の療法で救はれます

日本は脚氣國といふ有難くない名のある程で、毎年何萬もの人が之に冒され死亡者も年々二萬人に及んでゐます。

季節から申せば、春先から梅雨にかけてが最も罹り易い時ですが、一般にしびれ脚氣、心臟脚氣、浮腫脚氣等に區別されてゐる通り、色々の症狀が一つ、或は二つ以上合併して現はれるのが通例ですから、

その病理を心得て

早く手當をせねばなりません。しびれは神經系の麻痺で、輕い中は唇だけ、膝の關節、手足等に感じる程度ですが、重くなると筋肉がだるく一歩行も不能になります。心臟の部分は動悸となつて現はれ、輕い中は身體を動かした場合だけ鼓動が高まりますが ひどくなると安靜にしてゐても動悸が激しく、呼吸も苦しくなります。之に脚氣が加はつて來る様だと

衝心の危險が迫つて

ゐるから油斷がなりません。

浮腫は脚氣には殆どつき物の症狀で、長時間歩いたり立つたりした後に向ふ脛やふくら脛に現れるのは初期によくみる所ですが之は大變り心臟の[illegible]が出て、[illegible]も[illegible]されてゐるのです。

また、[illegible]り注意されなかつたが食慾不振、消化不良、便祕[illegible]等の[illegible]は疲勞、[illegible]の多い場合に[illegible]の初期である事が多いから注意を要します。

脚氣の原因に就て

は未してビタミンBの缺乏が原因であるや否やに就て、久しく議論が闘はされて來ましたが最近に至つて、それが主要の原因である事だけは確認されました。

鳩の脚氣とヘーフエ圖　罹病の鳩（上圖）でも強力わかもとのヘーフエを與へると遂に恢復します（下圖が恢復した鳩）

[illegible]の新陳代謝の大きい[illegible]や勞働者、[illegible]乳婦等が特に冒され易い事實は之を裏書するもので、之らの人はビタミンBを多量に攝取せねばならない生理上の必要がある爲に、動もすれば不足勝となるのです。

又、[illegible]から[illegible]に特に多いのも、[illegible]や濕度の高い事がビタミンBの缺乏を促すからなので、因ちに[illegible]でビタミンB缺乏症狀を呈する[illegible]でも、夏期には[illegible]に同症狀を呈する。又[illegible]地の野菜にはビタミンBの含有[illegible]

或る未知の因子

[illegible]が[illegible]少い[illegible]といふ[illegible]が報告されて居ります。だから脚氣と云へば、ビタミンB缺乏と[illegible]する[illegible]が一般に行はれてゐる譯ですが、[illegible]に一つはビタミンBだけ攝るよりも[illegible]の强化に[illegible]ある[illegible]を併用する方が遙に有効であり之は脚氣はビタミンBの[illegible]因ではあるが、まだ外に[illegible]が加はつてゐるからです[illegible]といふ[illegible]

療病實話

全身水ぶくれの浮腫脚氣が

（島民）片岡みち

私の親戚の者で山本[illegible]に勤めて[illegible]（中略）Sが昨年四月頃[illegible]

當時、水が合はないとでも云ひますか[illegible]てしまひました（中略）

全身水ぶくれの様に[illegible]はしびれてお話にならぬ程、おまけに動悸して（中略）むなく休暇をとつて[illegible]ました。

その頃から[illegible]べた[illegible]たらない程でした。[illegible]『強力わかもと』[illegible]服ひました。[illegible]

[illegible]と敢もほろうの有様です。

（中略）Sはとうとうこれ[illegible]ねて來ましたのでびつくりしました『[illegible]』とすつかりむくみの除れた足をまくつて[illegible]し喜しさうに話せるのです。

（中略）[illegible]『強力わかもと』を續けてのんでゐるから大丈夫です、と元氣のいい[illegible]

大人とは容態の異ふ乳兒脚氣の心得

母乳は與へても結構

乳兒脚氣には大人の脚氣の様な症狀の外に、吐乳とか、綠便とか、體重が増さないとか、ぐづついて不機嫌だとか、唯さう云つた症狀[illegible]

綠便

とは殆どつき物の症狀であります。吐乳の様子は、乳をのんで急に吐く事も後からダラくと吐く事もありますが、之はビタミンB缺乏の爲に消化力が衰へて、普通しか呈しないのも非常に多く、殊に吐乳と[illegible]

乳兒脚氣は、一般に云はれる様に[illegible]つきり[illegible]なくなるのは、しびれがひどい[illegible]

[illegible]しさうなのは衝心の危險があり、また泣聲がしやがれたり、眼を[illegible]時、[illegible]に[illegible]が強く、呼吸が苦[illegible]

綠便

や不消化便を出す事も多いので、自然と體重が増さず、むづかつたりする様にもなるのであります。また乳をのませたり、抱き上げたりした[illegible]

なら[illegible]も[illegible]も同様に[illegible]てゐるから[illegible]

乳兒脚氣は、一般に[illegible]に、母親が脚氣でその乳をのむから起る事は事實で、統計上でも之が大半を占めてゐますが、母親が[illegible]ない場合でもビタミンBの[illegible]不足した場合は、乳兒が脚氣になる事が少くありません。

手當

としては、大抵の人が母乳を離さなければならぬ様に思つてゐますが、之に一[illegible]もの[illegible]、以前は母乳を與へましたが、最近では[illegible]母乳を與へ乍ら手當をする方がよい、といふ結論に達しました。

と云ふのは、離乳後の榮養に重要な牛乳を用ひても、之らは母乳に比べると、カロリーに於て劣り、またビタミンBも少いから乳兒脚氣に對する治療効果は[illegible]と[illegible]しいのです。

そこで最近は、[illegible]を飲ませ[illegible]を缺[illegible]ないで[illegible]を[illegible]る事が[illegible]

母親

の[illegible]を[illegible]し、[illegible]の[illegible]は[illegible]され、一方乳兒もそれらの[illegible]が[illegible]つても、[illegible]母乳から[illegible]救はれるに至ります。

榮養と育兒の會は

[illegible]の[illegible]と、乳幼兒死亡[illegible]を[illegible]られ[illegible]

[illegible]『強力わかもと』一[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]は東京市[illegible]門（振替口座東京一七〇〇番）

かういふ[illegible]の[illegible]は小さい子供ほど受け易いのは勿論であります。

[illegible]や濕氣の高い[illegible]の氣候は、消化器を弱め、體力を[illegible]し[illegible]を[illegible]させます。

だからと云つてあまり大切にくるんで育てると[illegible]

夏季と幼兒

[illegible]

全國藥店にて

無代進呈！

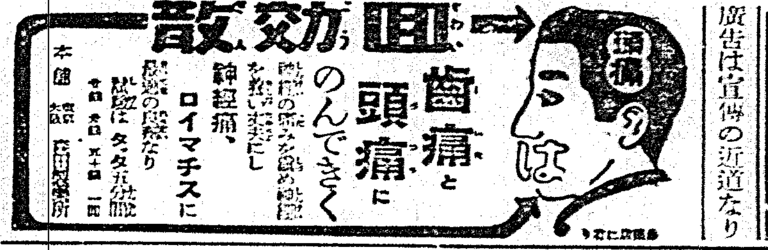
結婚から育兒迄 婦人一生の顧問醫

[illegible]

右二品は『強力わかもと』お買上の方に 進呈

御園白粉
はつ夏の
空のグンと青い時
貴方のお化粧は
フランス人形の顔の
様に　赤すぎず
黄すぎず
マツ毛の長い純情の
瞳の引き立つ様に
御園白粉の肌色を
お使ひになることです

旅行！ おつと待て ノーシン 忘れちや大變だ



神經痛、ロイマチスに

[illegible]

廣告は宣傳の近道なり

飛すな殺せ
アース
アース

Bosch
BOSCH

權威ある技術者は多年ボッシユ製品を採用し來り優秀にして經濟的なる利益を享受せられた。然して現在ボッシユ製品と同等の製品はボッシユ製品を採用し來り優秀品はボッシユ製品と同等の利益を與へつつありや？

「優秀なる機關は常に優秀なる電氣裝置と共に在り」優秀なる電氣裝置即ボッシユ製品の御愛用を乞ふ。

日本總代理店 イリス商會

一手販賣店 柳生商店

說明書ご御照會へ左記へ

東京市赤坂區溜池町一五

イリス商會

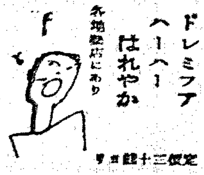
ボッシユ部

ボッシユ・サービス・ステーション

東京　神戶　名古屋

福岡　靜岡　京城

臺北　大連　奉天



ドレミファ
ハーハー
はれやか

定價三十錢より

副作用なく安全排蟲

マクニン

胃痛に 腹痛は 安川コロダイン

模範的に完成せる！

頭痛藥 ノーシン

頭腦藥は近代人の日用品の一である

ヨリよき生活の爲に近代人の頭腦は極度の働きを要求されて居ります、頭腦が極度に働く時、必然的に「疲勞」が伴ひ「頭が重く」「ボーット」して來ます、頭が痛むこいふこゝ腦が疲れるこいふこゝの間に密接な關係があります以上單に痛みだけを止める頭痛藥こいふものは凡そ無意味です頭痛を解消するこ同時に腦の疲勞を恢復させ朦朧たる頭が**ハッキリ**こする作用がなければ今日の頭痛藥こして完全なものこは云へません。**ノーシン**は此目的を以て創製せる綜合的の頭腦藥で**『頭痛を治す作用』**は勿論更に一歩を進めて**『頭腦の疲勞を恢復する』**二大作用を發揮する点に大なる誇を有するものです。或る意味に於て近代人たる資格の一こも云はれる頭腦過勞者のために最も適當な常用藥こして**ノーシン**を推奨する所以であります。

頭痛藥にも優劣あり選擇を要す

キキメ遲くば無効に等し

頭痛藥に最も必要な條件はあの激しい痛みを急速に解消する作用です、これなくば如何に百千の理論を並べても要するに無効に等しいのです。

ノーシンはズバヌケて速い

ノーシンが服用後ホンノ僅の間に痛を解消する偉力は既に天下に定評があり、而も不快な頭重朦朧を拭ひ去り從て頭腦を明快にする作用は愛用者の常に激賞さるゝ所で『藥も**ノーシン**程早く効けば立派なものだ』この言葉を頂いております。

絶對に危險な副作用なし

數多き頭痛藥の中には胃腸に有害な藥物を含んで居るために頭痛は消へても胃腸を惡くするものもある様ですが**ノーシン**には絶對に斯かる藥物を含んで居りませんから胃腸に對して何の不安もなく連用し得られます。無論頭を麻痺させる様な藥も絶對に含んでゐません。これこそ**ノーシン**が頭痛藥こして優秀で他に代用藥なしこ誇る点で實にあらゆる頭痛藥に得がたき特色であります。

胃腸藥添加の是非

最近胃腸藥を添加した頭痛藥を連用して却つて胃腸を惡くしたこ訴へられる方々が尠くない様ですが、これは當然な結果で元來胃腸藥は胃腸が弱つたり其の他故障の有る時これを普通の狀態に戻す助けをするもので、若し胃腸が普通健全であるのに胃腸藥を連用すれば胃腸はその藥の力を借るべく習慣がつき却つて胃腸自身の機能は漸次に低下し行くのであります、のみならず胃腸藥を添加する目的は胃腸を害する虞れある藥物の作用を防止するにありますから斯かる頭痛藥を無批判に使用するのは決して優良な藥こしての御期待の目的に叶ふものではないのであります。

醫家が藥の處方をする時、胃腸を惡くする虞ある藥劑の場合には胃腸藥を添加して保護しますが必要以外に胃腸藥を配合するここは決してないのであります。

ノーシンに胃腸藥が加味してないのは斯かる心配が少しもないからであります。

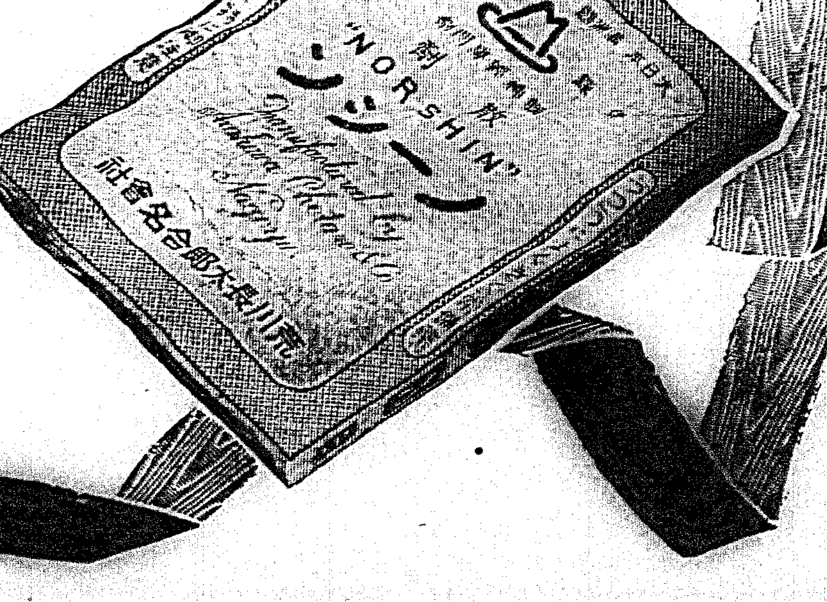
胃腸藥を添加せずこも胃腸を害しない藥こそ眞實の意味の完成せる頭腦藥こ云ひ得るのであります。

藥價
四回分…二十錢・十三回分…五十錢
七回分…三十錢・廿八回分…一円

頭痛藥の理想條件

・効果が確實で
・キキメが早く
・惡作用なく安全で
・藥價が低廉な事

主効
頭痛
偏頭痛
頭重
頭內朦朧
頭腦過勞
精神憂鬱
宿酔
眩暈
船車の暈



ノーシンは到る所の藥店又はデパートの藥品部にて販賣せり

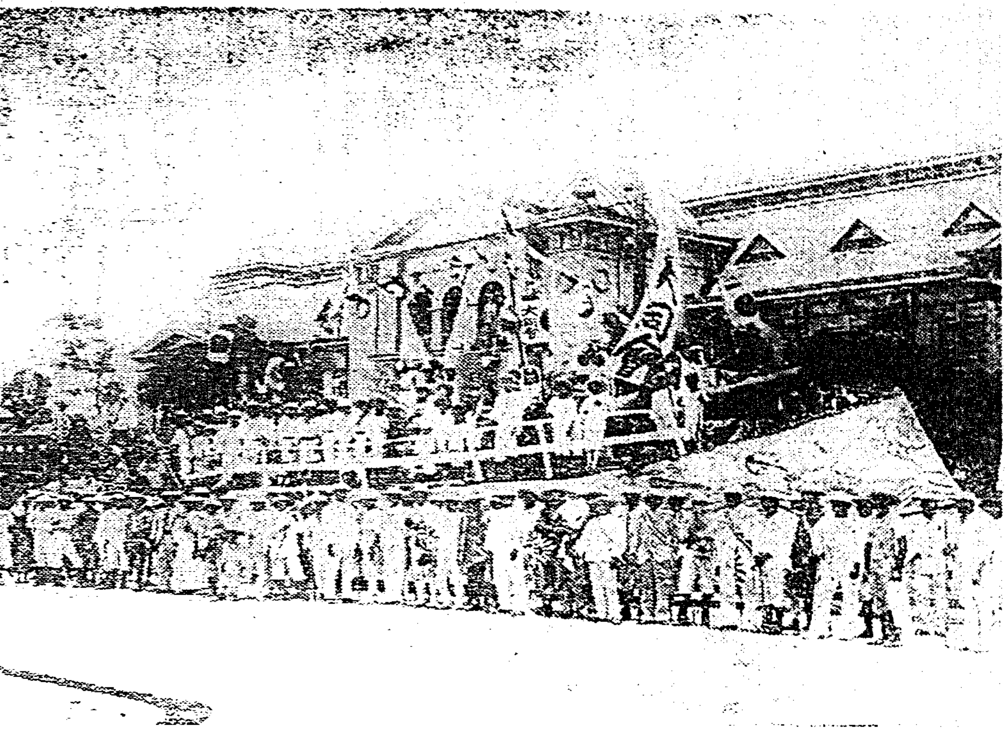
發賣元
荒川長太郎合名會社

三十年前を追想し現時の難局に善處

日露大海戰記念日に際し

國際情勢を説く大角海相

【東京二十六日發】帝國海軍がその全力をあげてバルチック艦隊を對馬海峽に殲滅し前古未曾有の大捷を博してより今年既に三十周年を迎ふるに至つた三十年前皇國の興廢を決したる當時の我が海軍の[illegible]なる意氣とそ、後今日に至る我が海軍の充實に伴ふ國運の進展と軍縮問題に當面せる帝國刻下の非常決意とを追想靜觀する時、我が國民たるもの誰か感慨無量ならざるものがあらう吾人は新たなる感激を以て往時を偲びつつ顧へつて現時の重大危局を直視するに當り、益々報國の覺悟を固むるものである、今や國際情勢益々[illegible]として各國[illegible]を許さざるの現狀にあり、加ふるに帝國はその將來の運命を左右すべき軍縮會議に直面し上下異常の決意を以て我が主張の貫徹に邁進してゐる、吾人は飽くまで我が公正妥當なる主張を列國に理解せしめ彼等の疑心暗鬼を一掃しその偏見[illegible]を是正するに努むべきであるが他方常に實力滿を持し我が海軍をして不敗の地位にあらしめざるからざることは國際間の現狀に徴して喫緊の要務なりと痛感するものである、この意味に於て三十年前の今日と等しく今や我が海軍は再び皇國の興廢をその雙肩に架せられたものといふも過言ではないであらう、吾人海軍軍人はその職にあるものと郷にあるものとの別なく、この重大時局の實相を[illegible]一致[illegible]各種對策に[illegible]一層の努力を[illegible]ふと共に不[illegible]の決意を以てこの難局に[illegible]しなければならぬ斯くしてこそ[illegible]めて三十年前[illegible]せる[illegible]の[illegible]を繼承しこれを[illegible]せしむるの[illegible]を果し得るものと思ふのである



記念日に先立ち從軍者の大會を開く

伏見總長宮殿下の台臨を仰ぎ

昨日、軍人會館で

【東京二十六日發】日本海々戰三十周年を記念する海軍從軍者大會は二十七日の記念日を前に二十六日午後一時から九段の軍人會館に於て盛大に擧行された、會場正面の壇上には日の丸と軍艦旗が掲げられ、傍らには「皇國の興廢此一戰に在り」との信號旗が高く掲げられ中央にはささやかな祭壇が設けられ、伏見軍令部總長宮殿下御台臨の下に國歌吹奏に大會は始まり、[illegible]に次いで大角、加藤兩大將の挨拶あり、萬歲[illegible]に式を閉ぢ、續いて軍樂隊の演奏其他餘興あり、[illegible]

ゆうべ新公園の寶探し

海軍記念日記念行事の前奏曲たる寶探しは二十六日午後八時から新公園内で開始され、[illegible]

卅年前の海戰祝捷

島都臺北での壯觀

三十年前の明治三十八年、日本海大海戰の[illegible]

日露海戰の昔話（下）

露艦擊沈の光景を觀る天下無類の觀戰碑

對馬に三つの記念碑あり

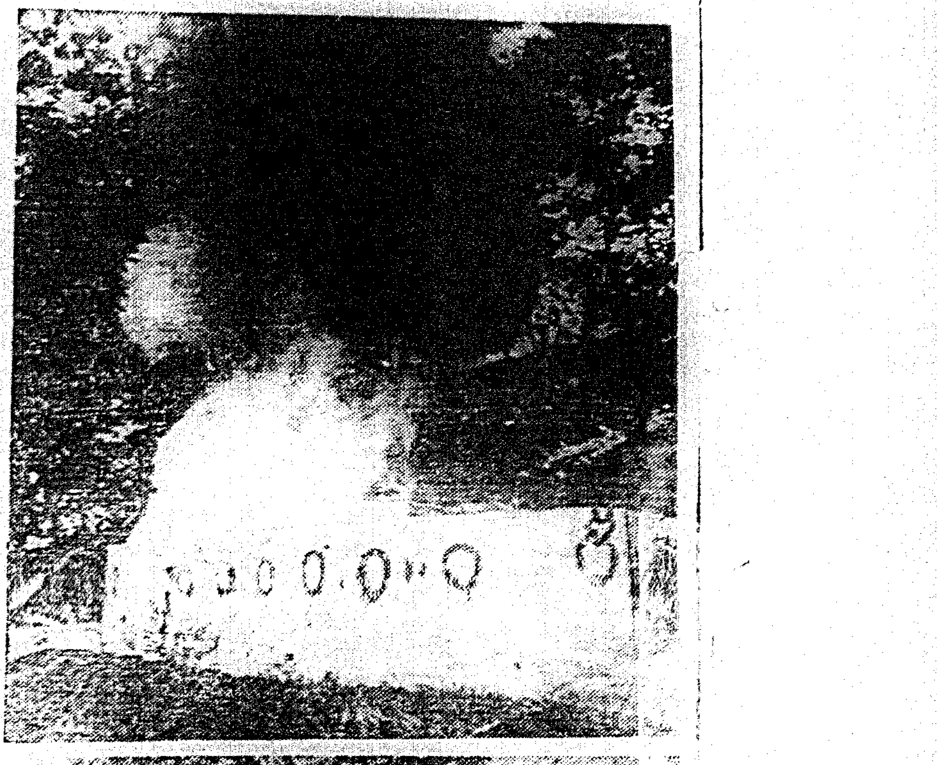
臺大力丸助教授の土產談

[illegible]

小國民の血を湧す動物園の海軍氣分

軍艦爆破、海軍講話など

[illegible]



（寫眞上は[illegible]軍艦の爆破下は胸躍らす小國民達）

海軍記念日を飾る基隆の端艇競漕

海陸の應援海を壓して物凄く優勝團に本社からメダル寄贈

【基隆電話】[illegible]

決勝戰成績

[illegible]

海軍記念日の祝賀大相撲

野崎、今村、平井の各選手夫々賞を獲得す

[illegible]

高商・斷然優勝

好記錄は槍と高障碍

臺灣學生對校陸上競技（第二日）

[illegible]

ミ、布兩島間無著飛行に成功

【ホノルル二十四日發電通】アメリカ海軍飛行艇六機は[illegible]

空襲演習中止

【ホノルル二十五日發電通】[illegible]

追使はれた小僧が今を時めく飛行少佐

因緣深い臺灣の震災にいたく同情して義捐

【東京二十六日發本社特電】[illegible]

大溪の國旗掲揚臺の受納式

【大溪電話】[illegible]

半身不隨の子を野原に生埋めにす

鬼畜の行爲に隣人喫驚

[illegible]

大橋團優勝

臺北B排球

[illegible]

京町萬華間にバスの新線計畫

[illegible]

社會事業に寄附

[illegible]

花蓮港の軟式庭球

【花蓮港電話】[illegible]

けふの催し

[illegible]

天氣のたより

[illegible]

皇國興廢 仍在海軍双肩
不論朝野皆宜善處
大角海相談

東京二十六日電。大角海相曰。帝國海軍。舉其全力邀擊俄國彼羅的艦隊於對馬海峽。爲空前未有之大捷。今既三十周年。其三十年前。決皇國興廢。可見其意氣之盛。後至今日。想我海軍充實。國運進展。與軍縮問題。帝國刻下之非常決意。我國民。無不感慨無量。吾人撫今追昔。自當益堅報國之覺悟。今也。國際情勢。愈見混沌。各種問題之歸趨。不易逆料。凡帝國將來之運命者爲軍縮問題。上下所當異常決意。貫徹我主張。而使列國理解。去其疑心。正其偏見。一面常充實力。使我海軍永遠不敗。徵之國際現狀。尤爲喫緊要務。此點恰如三十年前。今也我海軍再任皇國之興廢於双肩。斷非過言。吾人海軍々人。不論在朝在野。共宜靜觀此重大時局之實相。一致團結。力行各種對策。善處難局。如斯始可以承三十年前官揚諸先輩之遺業。而全其責務也云々。

首相薦山本氏 爲勅選議員
三長老同意

東京二十六日電。政友會長老山本條太郎氏。最近健康不順。且蒞內事情。不容其政治的主張。況爲內閣審議會問題。與所親之岡田首相。及政友會之間。亦不易斡旋。漏出近退政友會第一線。而專靜養之意向。想能實現。岡田首相。乘此機會。欲酬其久爲黨政盡力之功績。及其對飛躍時代滿鐵事業之貢獻。決定奏請爲貴族院勅選議員。高橋。町田。床次三長老閣僚。亦表贊意。至遲來七月頃。可見實現。豬此回山本氏勅選。首相不帶政治的意味。在酬鄉先輩之勤功。山本氏將來政治的立場。勿論無所關係云。

同仁會長 內田伯辭任
林男補後

東京二十六日電。大正十四年以來。久長同仁會之內田康哉伯。此回爲宿痾辭任。後任林權之助男云。

有吉駐華大使 訪西園寺公
報告兩國事

滿水二十六日電。有吉駐華大使。二十六日午前九時三十五分。到坐漁莊。訪西園寺公。敘見任初代大使之禮。而後報告日華關係現在。及對華外交將來云。

外蒙古代表 且到滿洲里
會議確實

滿洲里二十五日電。據二十五日當地滿洲國代表部。所接外蒙古側公文云。外蒙古側代表一行。二十五日發庫倫。入滿洲。其到滿洲里。或多少遲延。但會議開催確實云。

國府謀收電信 或電報檢閱權
帝國勿論不易應允

上海二十五日電。國民政府。既々回大北電信會社。又欲收回我上海長崎間之海底電信。務使外國電信收入。案中。雖爲日本側所拒絕。最近豬欲得日本電信新聞電報檢閱權。決定與日本交涉。卽根據國際電信條約第二十六條。要求抑留不正確報道。及有害中國安寧秩序之新聞電報或改作之權利。日本勿論斷然拒絕。然中國官吏日本紳士的態度。可注視云。

黃郛氏 有意引退
既告記者團

上海二十五日電。華北政務整理委員長黃郛氏。既下莫干山。現駐上海。二十五日。與中國記者團會見之時。漏出辭意如左。由種々關係言。余之北上何時不知。內政部現次長。善爲措施。余望引退。既對中央政府。提出辭表云。

米海軍航空機 飛行成功
千二百哩無陸

檀香山二十四日電。米國海軍航空機六機。二十四日午後九時十五分。自密路衛島。飛到當地。此間相去千二百哩。乃能無着飛行。可謂成功。而兩島間飛行。此其嚆矢。次常遞提督指揮六機。同九時二十五分到。市民歡呼。究此飛行。費十五時間三十七分。

參加艦艇 百十五隻

檀香山二十五日電。米國海軍空前大演習。事實已終。參加艦艇。總集而來。至二十六日。艦艇百十五隻。決定拔錨。二十五日正午。海軍機二百十五機相次飛出航空母艦。此編隊飛行。堂々一周與至島。以行空中分列式。爲大演習掉尾之潤色云。

紐育滙水 既騰又落

紐育二十五日電。二十五日紐育滙水。前日暴騰一齊跌落。對日二十九弗十三仙。降十二仙。對英四弗九十三仙。降一分一。卽三仙八分五。此爲法國國立銀行再行昇利。及休日關係。有所賣出。又對法國。昂七十五佛郎云。

大楠公年祭 舉遙拜式

大楠公六百年祭。臺北遙拜式。既如前報。去二十五日午後七時二十分。在稻荷神社社務所。由兵庫縣人會主開。參列者兵庫縣人會長坂內次雄氏外會員三十五名。在鄉軍人會城西分會議谷會員外四十名。商業學校職員生徒四十名。臺灣神社山口宮司以下神職四名。一般篤志家小松吉久氏外三十名。計百五十名。首修祓。獻饌。祝詞後。遙拜。讀谷、小松。山口氏等。奉玉串拜禮。最後有坂內會長之致辭。至八時十分。告終云。

高雄海軍記念日
大規模摸擬海戰
最後參加全員閱兵式

二十七日。海軍三十周年記念日。高雄摸擬海戰。[illegible]所關。據[illegible]海軍無線電信所發表如左。

摸擬海戰

二十七日午後三時。在十號岸壁前面實施摸擬海戰。在臺灣爲未曾有大規模。且場所趣向。模擬軍艦長十四米。悉稽軍艦而搭制。海戰爲驅逐艦與模型軍艦交戰。而模型軍艦。係示戰鬪開始。將戰鬪旗懸于檣上。次演出驅逐艦與大砲戰。時而檣倒折。艦突大破。以示損傷狀況。最後由驅逐艦。發射水雷的中（際發射魚形水雷。然爲爆破。十分距離不致損害）。發一大音響。水柱高揚數十丈。粉碎如木片散之壯觀。二十七日午前八時。實施一、統監部、第一驅逐隊司令以下、六艦以上、于入港于西子灣。

令。夕風艦長。兒玉艦長特校。一、編制甲軍。指揮官海軍中尉金子來。兵力則驅逐艦隊。夕風。及第三驅逐隊全部之陸戰隊。機關銃隊。四個小隊。計二百二十名。乙軍指揮官海軍大尉小原四郎。兵力則機關銃六挺。銃隊四個小隊。計百七十名。一、想定（一）甲陸戰隊。

（二）乙軍。占領由海軍無線電信所目的。二十七日未明抵西子灣。準備。（三）負擔守備任務之乙軍聯合陸戰隊。以其一部。駐屯于西子灣海岸附近。嚴重警戒。而實施演習。甲軍以高速力。在港中先以大砲。攻擊。使乙軍被害。次接近海岸放煙幕。俾不見。而以短艇十數隻。近海岸時。復以高速艇放煙幕。戍發射煙幕彈。使陸戰隊出發。陸戰隊接陸上不爲照準攻擊。而於行。乙軍于海岸線張防禦線。于要處置機銃。而一部予後方爲豫備隊。陸接應援。欲予甲軍上陸前殲滅。極爲大規模之實戰。其北殺殊雖以言語形容者。最後于西子灣運動場。參加兩軍全員。舉行閱兵式。

羅東街有志籌設
國語普及促進會
極力助成國語講習所

羅東街本島人々口一萬五千餘人。能解國語者。不過二成三分四厘。對此國語普及。爲十箇年計畫。著々進行事業。本年度因熱心的研究後。以場一場。由出席區委員十餘名等。校前兒童。收容于集會所。指導國語。按設七區。去二十四日。假羅東街役場講習所五處。簡易國語講習所五處。以外對七歲成函館。名爲羅東街國語普及促進會。該會規約。容後移于教化聯合會。經總會。審議後。募集會員募集金額。按二千二百圓。此會成立後。每年合街國語普及費。凡三千餘圓。以此經費。對各部落。獎勵國語普及。豫想今後八箇年間。對本島人總人口普及五成以上云。

臺中聯合青年團 主開音樂會
捐款救災

臺中聯合青年團。擬于臺中州下震害地。學校倒壞。及教授資料。致書籍學用品紛失等。學校一變。受致命打擊。遂使向學兒童。至爲展開書籍爭奪。此次羅災兒童之救濟。受臺中市聯合青年團會。愛國婦人會臺灣本部臺中教育會。竝東區遂會社等後援。照左記日程。主開羅災兒童書籍學用品教授資料資金義捐音樂會。二十七日午後二時。于市內新富小學校。午後七時。于臺中公會堂。會費大人三十錢。學生二十錢。小兒十錢云。

政府拂下米落札
四十一萬五千餘石
落札價廉期米暴落

據去二十五日午後。臺北接東京電報。政府拂下米五十萬石。入札結果。落札數量四十一萬五千九百四十五石。卽八圓強。價格頗未詳。然二等米。九圓五十錢。殊如北海道米低落至八圓二十五錢。意外安廉。故期米。亦報廢四五十錢。當地蓬萊場外七月六日限九圓十錢。賣方自後場止。廉七丁。較是日高價。廉十三丁云。

改正制度 開講習會
臺南州主催

臺南州。爲改正地方制度實施準備。對關係職員于臺南嘉義兩市。主開講習。而臺南市。于六月八日。至十一日四日間。開于州會議室。會集臺南市尹北門等五郡職員。約百名每日午前八時。至午後三時開講。講師小濱內務局長。或石井地方課長。以外矢上。松田兩屬云。

癩末感染兒童 保育所
廿九日落成式

臺灣癩豫防協會。自昨年來。計畫癩未感染兒童保育所。至此次工事告竣。訂來二十九日。舉落成式。該所命名爲新生寮。位置在新莊街樂生院構內前面。敷地三百餘坪。建坪四十餘坪。爲木造建築工費約五千圓。收容定員十名。此保育所。爲鑑癩患者子女。因其親入療養所。無養育之人。故爲保護養育。衣食。娛樂等一切。由癩豫防協會支辨。又至學齡期者。施以初等教育。使得立於社會云。

景美公學校 保護者總會
議療沙目

文山郡景美公學校保護者總會。二十六日午前十時。於當校講堂。開十年度總會。會員役員。約百名出席。林會長。長田校長敘禮。陳報事報告經過。承認豫算案。役員任滿。委任會長指名。關兒童教育上。相與懇談。尤以全校八百六十名中。患沙目者四百三十三名。卽過半數。共擬協力治療。請求州郡街庄。其他援助。傍午閉會云。

投河自殺
原因夫婦反目

臺南州東石郡朴子街朴子八十五番地。陳翔高之次女林陳氏省。年二十二。去二十五日午前九時三十分。步至附近朴子橋（岩橋）。●跳入溪中自殺。當局接報。急偕松浦公醫。馳到現場。欲救無效。查自殺原因。林陳氏。二年前嫁六腳庄林內林葉爲妻。因夫婦反目離緣。自怨薄命。是日爲發病。偕其母往當街仁安醫院治療。及歸家時。忽起厭世之念。跳入溪中自殺云。

和美庄帽子 生產組合
定款等草案中

彰化郡和美庄竹內。婦女子所編帽子。一年中生產額。約四十萬個。所得工貲。四萬餘圓。中間利益者。爲被各地來採收者搾取。鑑及此。爲保護生產者利益。及品質向上。與庄中諸商議會員。庄當局。區委員有力者。種々磋商結果。決定組織帽子生產組合。對從來缺點。排去改善。目下定款等草案中云。

基隆

市社會館

基隆市館紹介所。及基隆職業紹介所。從來改稱爲基隆市社會館。簡易宿泊所職業紹介所。仍置於當館內。另設人事相談所。及免囚保護事業之基隆市愛隣會等云。

組織町會

基隆市內內地人各町。漸有組織町會者。而本島人方面。因有保甲關係。雖既組織保甲費者。再組織町會。則要徵收町會費。悉二重負擔。故未組織。然來十月。自治制實施。町委員制廢止。乘此機會。有計畫組織町會者。如田町將以氏。其計畫內容。欲訂町會々則。凡冠婚葬祭時。除一物以金錢。其他廢害。一切改良。

新竹

農倉滿積

新竹郡香山信用組合。自昨年新築農業倉庫。及事務所。自是利用者蒞商人。日見加多。目下各號倉庫。推積如山。

罪蕃風說

新竹郡香山庄港水港四七二番地。陳發之孫陳林氏頭。年五十九。去二十五日午前六時頃于就寢中死亡。有服毒自殺風說。郡警察當局。立派員赴現場檢證。目下細詳調查中。

竹山

竹筏連絡

竹山林內間濁水溪。去二十二日夜。洪水泛濫。故就道橋梁一部被流失。至二十三日朝。變通杜絕多間。爲便東及乘合自動車以竹筏連絡。若此後晴天。按一週間內。得以復舊云。

勸農總會

竹山郡勸業係職員。所組織勸農會。于二十六日下午六時。在竹山玉漢樓。開本年度定期總會。報告收支決算。調開新會員。歡迎宴。

囑託產婆

竹山庄役場。現在公設產婆竹山社寮。勞水坑等三處。此回竹山信用組合。鑑及利用者漸多。亦擬以林面氏妻。及胡氏陪二名。爲囑託產婆。因日前理事會。業既決定。擬待當局批准後。正式發表。

一般筍價

竹山郡地方。目下生筍生產。將見終熄。但現每日尚有百餘擔登市。去六筍價。百斤三圓五十錢至四圓。石竹筍同一圓五十錢至二圓。又麻竹筍千同四十五圓至五十圓。五宗筍千同二十八圓至三十三圓云。

會事

基隆市役所。及市教化聯合會訂來二十八日午後七時半起。假基隆公會堂。主開講習會。講演者西山末會氏。演題未定云

人事

王芳蘭氏（宜蘭街[illegible]實業家）建[illegible]兵合衆建川

近將來想不再震
今村理學博士談

理學博士今村明恒氏。觀察此次震災各地。二十五日午後二時二十六分。搭新竹驛發列車。向臺北。參今川知事之命。去二十四日午後二時十八分南下列車。選手一行赴南。與臺南圓合流。爲出場郡市對抗野球大會。猛烈練習。關此嘉義市非難之聲四起。二十四日夜八時。在公會堂。開野球熱心家大會。參會者四百餘名。推岡山登嘉正氏。爲座長。討究善後策。結果以決議文宣明。絕對反對全嘉義團。爲出場郡市對抗大會。與臺南圓合併。然後入懇談。或非難支部及選。態度。或促今川知事反省之聲四起。漸見問題化。乃由嘉署正式臨監官。加以威壓。結局推舉實行委員五名。以圖嘉市代表野球團之再建。至九時半散會。翌二十五日朝。實行委員。訪問川添支部長。請再建嘉義團。難得赴今回大會。口約來年度。必定再組嘉義市代表球團。以副諸熱心家之望。實行委員亦願助力全嘉義團之更生。於是問題中之嘉義球界。遂得告圓滿云。

（以上據說明地震原因。依學徒說明自異。通俗的說明尤難如電氣與秦斗稀處理引。對于電氣爲何物。自已不能說明。地震原因亦同。在地中。余亦不知。然而地于地表之斷層。地裂。地震現象。欲想像其震源。故就其原因一任學者研究。在學者間。推定爲地熱不均一分布。地塊逆對不絕。大陸常向海進出。海與大陸反抗。因此抗爭之時。而起地震也。臺灣爲大陸所押。進向太平洋方面。然此次地震同地方。近將來應無再震云。）

嘉義球界滋事
圓滿解決

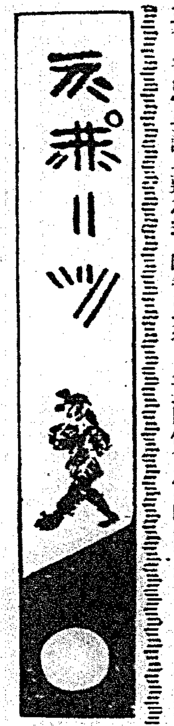
嘉義野球。因受體育協會嘉義支部。專屬全島野球大會。加入[illegible]。爲遂[illegible]

大橋公校書法
講習終了式

臺北市大橋公學校。自前年九月。由同校保護者會後援。主開書法講習會。講習者四十餘名。講師曹秋圃及吳源南氏。各員熱心講習。客臘泰東書道院展覽會時。會入選二點。去二十四日午後四時。舉行證書授與式。千葉市教育課長。長田書記。及保護者會役員多數臨席。

基隆外港
修築感謝會

基隆外港修築祝賀委員會去二十五日午後一時。于祝賀會終了後。招待平塚長官以下關係者二十餘名先于超丘砲臺。賞覽風光。暫時休憩所。午後六時。於高砂亭之外港修築感謝會。基隆方面參加者八十餘名。席間賓主致禮。至七時盡歡而散。



補回戰に入つて
12對11 專賣雪辱
勝敗を決せる茅野の三壘打

臺北實業團野球リーグCB對專賣第二回戰は二十六日午後二時十分から圓山球場に於て專賣先攻で擧行、審判は球審飯島、壘審山木、三浦、青木の四氏、試合は補回戰に入つて專賣茅野の三壘打によつて決する迄荒れに荒れたラフなゲームで印象的なものとは申せないものであつた、CB高橋投手は劈頭外角を衝く直球に曲球を適宜に交へて好投し此一戰に凱歌するが如く見えたが二回遊擊、三壘、一壘と內野陣の破綻に早くも亂れを見せ極め球が決らない隙に乘じ專賣茅野の安打を集中されて四點を獻上してしまつたがこれは野手が責を負ふべきものであつた然し其後四回五回に花田、茅野、深迫、野間口の長短四本の安打を浴びせられマウンドを山田に讓るに際しなくなり山田また球威なく八回に茅野の左越クリーンヒットを浴び左翼の後逸に三點を獻上してしまふ結果となつて、九回石川に交替するなど投手陣に頼り得なかつたCBは打力に於ても專賣に比して劣勢で六回迄は專賣田中投手に翻弄されてゐた感があつた六回迄に[illegible]投げ過ぎた感があつた[illegible]せはじめ七回二死黑田、田中に四球を與へ松本に安打を許して二點七回二死後國友に四球黑田、田中はつて三點八回又も松本に四球を與へ下村、國友の長短二本の安打を浴び左翼右翼と外野陣の逸球過失が加つて五點を獻上し十一對十一と同點に漕ぎ付けられ苦戰に陷つたが之は除く共八回無死滿壘の危機に飯島の救援を必要としてゐた害である補回戰に入つて專賣茅野の一打は好い當りで稍ライナー性のものであつたが決して難球といふ程のものではなかつた太陽に遮られた下村が僅かに背走せるのみでグラブで球を抑へたまゝ立止つてゐたことはこれを三壘打としてしまひこれが直接的には勝敗の岐路となつてしまつた、然し此日茅野が三番打者に起用された重責を四本の安打によつて見事果したが外野手としての守備力には疑點を見せ三つの重大なる過失をなしてゐることは感心せない、專賣は此日捕手の屈目で負傷者相當いたが戰鬪力には此した影響もなかつたやうだ、兩軍の過失專賣八、CB六、兩軍の安打專賣十二本、CB十一本といふ荒れた試合であつたといふに盡きる

CB　0 1 0 0 0 2 3 5 0 0
專賣先 0 4 0 2 1 0 0 4 0 1　12—11

一回　（專賣）CB高橋投手二十[illegible]一死後坂井をアウトロで拔かめんとしたが二一三、次の好直球を坂井見逃さず左中間に二壘打せるも高橋外角を衝く直球に曲球を交へての好投に井の遊三振、茅野二飛、深迫三振（CB）香椎投手強襲安打に出で二盜、國友三振、黑田の二飛で二進せるも田中中飛

二回　（專賣）野間口遊前意投に一壘、田中の三飛失で三進、上村の一前バントは一壘ガラ明で安打となり野間口生還、山城三飛野選となつて滿壘、花田右飛で田中生還（山城足を挫き代走PR小野）坂井の投前犯打で上村還る井の遊投手強襲安打、茅野の遊三間安打で小野還る、深迫中飛（CB）（專賣小野捕手となる）楠本三遊間安打左翼失で一壘二進、松本二飛、的川三飛、三好中飛

三回　（專賣）野間口左飛、田中遊ゴロ、上村遊前は六四一三で併殺（CB）香椎四球で歩き、國友右飛、黑田中飛

四回　（專賣）花田三遊間安打、坂井の投前犯打で送られ井の遊中飛後茅野の左前安打で生還、深迫右翼線近くの二壘打で茅野一壘生還したが深迫右翼からの送球で三壘に刺さる（CB）田中二飛、楠本遊前、松本四球を選んだが二盜に刺さる

五回　（專賣）野間口左越三壘打、（投捕退き山田投手に入る）田中三振、上村中前安打で野間口生還、小野中飛　上村二盜に刺さる（CB）的川三振、山田二飛、三好遊前失、香椎三飛野選に走者一、二壘、國友右飛

六回　（專賣）花田捕前ゴロ、坂井遊前失に出たが二盜に刺さる井の遊三越安打、茅野右飛（CB）黑田四球出で二盜、田中四球、投手二壘牽制球を後逸後楠本遊前で黑田生還、松本三壘右安打で田中還る的川に代つたPH下村右飛、山田右飛

七回　（專賣）（CB下村左翼となる）深迫遊前意投、野間口三振後二盜、田中四球、上村遊前は六一四一三で併殺（CB）香椎四球に出たが二盜に刺され、國友四球、黑田左前クリーンヒットに走者一、二壘、田中の左前安打を左翼前手に突込み過ぎて後逸國友、黑田生還、田中も一挙本壘を衝き猛烈なスライドすれば捕手落球に生還（小野負傷して退き井の遊捕手となり高來二壘に入る）楠本中飛

八回　（專賣）小野四球、花田捕前バント一壘落球に生き、坂井三振後茅野の左越クリーンヒットを左翼後逸し三走者生還、茅野一擧三進捕手悪投に還る、深迫右前安打、投手一壘牽制に刺さる野間口二飛（CB）井の遊走部ケイレンで退き小東捕手に入る松本四球、下村三塁強襲安打山田バントは投前小飛となつたが投手落球、三好の左飛で松本生還、香椎左飛落球に下村生還（山田に代つPR西岡代走）國友右翼線近くの二壘打を右翼ハンブル一擧三進、吉峰香椎生還（田中退き飯島投手に入る）黑田遊前で國友還る田中一前失に出で二盜せるも投手牽制に刺さる

九回　（專賣）（CB石川投手に入る）飯島四球、上村三塁前安打高來の一前犯打で走者進み、花田右飛、坂井遊前（CB）楠木捕松本捕邪飛、下村右飛

十回　（專賣）伊東三飛、茅野の左翼への快打は左翼手太陽に遮られて三壘打とし深迫の二飛を三壘手本壘へ投じ之が野手選擇に合はず茅野生還其の間深迫一壘を衝いて刺され、野間口左飛（CB）石川左邪飛、三好遊前、香椎三壘左を抜く二壘打、國友四球を選び二死一、二壘と[illegible]之と好機であつたが田中[illegible]

小寺、平峰の一騎打
高商優勝

對高校定期庭球戰四日[illegible]

第七回臺北高商對臺北高校定期庭球戰は二十六日午前九時から高商大コートに於て擧行、兩校選手とも一兩年前に比し見違ふばかりの進歩を示し本島庭球界の強化の感を深くさせたが高商は高校NOワン小寺の對戰は四—四のあとを受け勝敗の勢がかつた一戰の双も如何り其に興味があつた、兩者とも堅固手の攻防、平峰タクテイクスにヤヤ勝れば小寺は剛球と身振の鋭さに分を持ちスピードのあるゲームを展開し激しく競合つたが結局小寺の勝利となり高商の優勝をみた、平峰にしては諦められぬ試合ではあらうが高商に於ても勝つつもり戰はれなかつたと云ふより外ない、其他[illegible]の對戰は[illegible]

△シングルス

高商		高校
福田	1—6、3—6、6—6	倉
三澤	0—6、1—6、1—6	高砂地
今給黎	2—6、4—6、6—6	松尾
內園	6—3、8—6、1—6	北川
中津	6—3、0—6、6—1	兵頭
小寺	6—4、1—3、1—6	平峰
（今給黎）（內園）	6—4、6—4、4—4	（北川）（兵頭）
（中津）（小寺）	6—4、6—4、4—4	（松尾）（平峰）

7—3 法政再勝
對慶應二回戰

【東京二十六日發】慶應對法政野球第二回戰は二十六日午後零時三十分より神宮球場において伊丹（法）瀧口、横澤、天野（慶）四氏審判法政先攻に開始結局七對三で法政勝す

法政先0 0 0 0 6 0 0 0 1 0　3—7
慶應 1 0 0 0 2 0 0 0 0 0

（バツテリー）（法政）若林—鬼田（慶應）楠本、土井一樋森

立教慘敗
【東京二十六日發】早大對立教第二回戰は二十六日午後三時四十六分より神宮球場において森田（早）片桐、長崎野本（慶）四氏審判立教先攻にて開始結局十二A對一で早大再勝し[illegible]三十七分

立教 0 0 0 1 0 0 0 0 0　12—1
早大 0 0 0 0 3 6 3 0 A

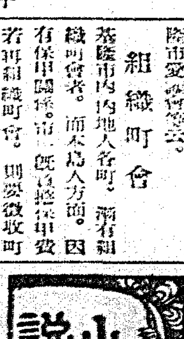
【バツテリー】（立教）菊池—木村（早大）若原、伊田—田中

臺北競馬（第二日）
越二日間の騎乘停止

臺北春季競馬第二日目は二十六日午前十時から舉行競馬番組は次の如く擧行された

△抽籤馬障害千四百米6頭立、1ライジングサン（53安永）1分33秒8、2ウメ（53上田）3馬身、單2圓30錢、複1圓70錢、1圓
△內國產馬千四百米10頭立、1ラクキー1（53[illegible]）1分45秒2、2ムサシ（53安永）4馬身、3三津（53安本）3馬身、單4圓90錢、複2圓50錢、1圓40錢、1圓20錢
△內國產馬千六百米9頭立、1羽言山（56安永）1分53秒6、2アケボノ（53[illegible]）4馬身、3コマクヒメ（54吉永）4馬身、單2圓50錢、複1圓50錢、3圓30錢、1圓60錢
△內國產馬千六百米9頭立、1セントヒノキ（56[illegible]）1分58秒2、2[illegible]（58[illegible]）6馬身、3川[illegible]（58[illegible]）6馬身、單10圓、複4圓70錢、1圓10錢、80錢
△乙種馬千六百米6頭立、1カネ（53[illegible]）1分59秒2、2シヤス[illegible]
ミン（56飯田）3馬身、單4圓、複2圓40錢、1圓80錢
此の回に於てヤヨイの騎手[illegible]實力を發揮せしめなかつた爲め二日間騎乘停止を[illegible]より命ぜられた
△抽籤馬障害千六百米5頭立、1クロヒメ（54[illegible]）1分54秒4、2紀ノ國（56[illegible]）大差、單5圓複2圓90錢、90錢
△速步二千四百米6頭立、1八千代（53山[illegible]）ハンデ1後100米7分18秒、2ツル（53[illegible]）ハンデ後90米3馬身、單10圓、複1圓30錢、1圓
△乙種馬千六百米6頭立、1セントヒノキ（56[illegible]）1分58秒、2ヒトロ（58[illegible]）[illegible]、3[illegible]4馬身、單2圓60錢、1圓40錢
△甲種馬[illegible]米6頭立、1サンテーム（54[illegible]）[illegible]、2[illegible]（53[illegible]）[illegible]5馬身、3タイホウ（56[illegible]）4馬身、單3圓50錢、複2圓10錢、1圓
△甲種馬千八百米6頭立、1ツビー（58佐藤）1分54秒6、2[illegible]（54川口）頭、單4圓50錢、複2圓60錢、1圓10錢
△乙種馬千八百米7頭立、1[illegible]（54坂本）2分9秒、2ロトセイ（54吉川）2馬身半、3サカエ（56[illegible]）2馬身半、單10圓、複10圓、3圓10錢
△甲種馬千八百米6頭立、1金華山（57飯田）2分8秒、2アレグロ（58[illegible]）5馬身、3サアドド（56上田）20米、單2圓20錢、複1圓60錢、1圓30錢

櫻花夢（下卷）
第八十四回
別世界將開闢



因芳曰。吾師海雲遊。其次訪師於海陽樹宮。拜問姓名。日張姓。不以名言。自言付晤師於泰山絕頂道院。此次雲遊南嶽。自蘇省而浙省。而閩省登鼓山第一峰。循宋時雞所謂龍渡滄海之通眠。訪波到雞峰又踏雲於玉山。遙溯絕海風光今道友出遊。吾明日又欲到扶桑去。不久當與一班異人物。開闢別世界。吾道有辟穀法。不食人間煙火。或可試用之於別世界。開新人類生存法。欲與令師研究此事也。其師來。煩爲我一言之。弟子欲留一宿不肯。出門一縱。風雲生雙腳下。向海東而去。倏忽不見。不知其爲何許人。雲生道人曰。他是柳仙弟子。青林新城縣人其子名小乩。亦於柳仙處學道父子同師。我參秦狀之神。偶約遊滄海。不知其何事遲留。至翌年始來。彼所云別世界。與我所云別世界。同一見識。彼欲與我磋商者。是開闢之年至於人類生存法。道祖已開群仙會議。記錄煌々。吾輩不過奉行耳。甚周曰。請道長爲言其詳。雲生道人曰。秦開茅葉。天機未得洩漏。時到便明白。山輝曰。吾曾於北京南德府。逢一道士。以袖子布桌上。中間橫斜索痕。不甚可辨。外爲八門。井然可數。效一小昆。從生門入。則曲折曲折而出。從死門入。則盤旋許久不得出魚腹浦之武侯八陣圖。殆與此同類歟。然語其中樞々生雲氣不知其何以能然。又只八堆之石。何以能使人馬入其門。迷不得出。後來陸遜誤入八陣圖迷路彷徨。黃承彥乃爲引出。武侯之陣中雲氣。豈武侯之布道法耶。黃承彥於是時。從容不迫。明々而來。寥々數語。有仙人風度。豈其羽化而登耶有道者。外其宴駕致遠。飄然超脫。曰是才有仙骨。八陣圖之有雲氣。所以宗其靈跡也。黃承彥而未在天仙之列。或在地仙之列。若吾與張家父子。則須努力重琢也。（未完）

詩壇

震災感賦　蔡紫峰
天災地震禍難移。家破人亡最可悲。感激聖恩優渥甚。大宛內帑恤瀕危。

用麥坡詞兄寄懷原韻
却寄　王鐵石
廿年爲客滯他鄉。鐘鼎山林兩渺茫。偶聽關鳴遙水。驚看枯樹老斜陽。才多定有安邊策。計拙應無濟世方。欲棹扁舟歸未得。故園松桂自蒼々。

君。盡現昔滿鐵家。去二十五日歸臺。